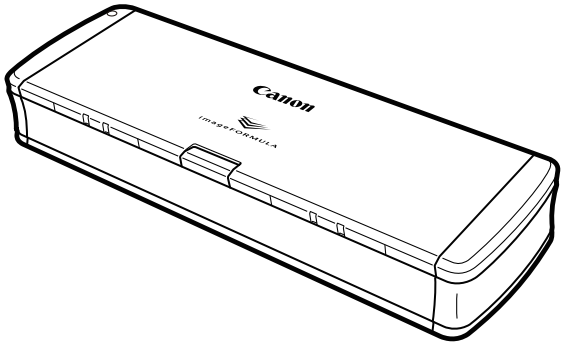
imageFORMULA

DR-P215II

ユーザーマニュアル



◆ご使用前に必ず本書をお読みください。
◆将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

目次

目次 2

第１章　はじめに 4

本書の読みかた 4
本製品の特長 5
各部の名称と機能 7
電源について 8
規制について 11
商標および登録商標について 11
動作環境 12

第２章　安全にお使いいただくために 13

設置する場所について 13
「AC アダプター（別売り）および電源コードについて」 14
本製品の移動について 14
日常の取り扱いについて 14
廃棄する場合について 15
本製品を修理のために送付するときは 15

第３章　スキャナーを接続する 16

コンピューターと接続する 16
電源を入れる 17

第４章　原稿をセットする 19

原稿について 19
原稿のセット 21
カードのセット 22
長尺モードの設定 23

第５章　CaptureOnTouch Lite でスキャンする 26

CaptureOnTouch Lite でスキャンする 26
CaptureOnTouch Lite の起動と終了 31
スキャン画像編集画面の操作 32
スキャンモードの設定 35
出力先の設定 36
環境設定 38

第６章　CaptureOnTouch でスキャンする 39

CaptureOnTouch とは 39

第７章　スキャナードライバーの設定 40

スキャナードライバーの構成と機能 40
スキャンパネル 43
基本的なスキャン条件の設定 44
モードの設定による機能制限 46

第８章　目的別にスキャンする 48

こんなときは 48
用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい 48
こんなときは 49
スキャン領域を指定したい 49
こんなときは 50
両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい 50
こんなときは 51
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい 51
こんなときは 52
赤を強調させたい 52
こんなときは 53
画像の輪郭をはっきりさせたい 53
こんなときは 54
スキャン画像の文字や線を太くしたい 54
こんなときは 55
写真に適した補正をしたい 55
こんなときは 56
背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい 56
こんなときは 57
原稿や画像が斜めになるのを補正したい 57
こんなときは 58
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい 58
こんなときは 59
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい 59
こんなときは 60
横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい 60

こんなときは 61
カードの表と裏を 1 枚の画像としてスキャンしたい 61
こんなときは 62
スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい 62
こんなときは 63
マルチストリーム設定でスキャンしたい 63
こんなときは 64
スキャナードライバーの設定を保存したい 64
スキャンパネル 65

第 9 章　日常のお手入れ 66

本体の清掃 66
読み取りガラスとローラーの清掃 67

第 10 章　給紙ローラーと分離パッドの取り外し／取り付け 68

消耗品の交換 68
給紙ローラーの取り外し／取り付け 69
分離パッドの取り外し／取り付け 71
カウンターのリセット 72

第 11 章　ソフトウェアをアンインストールする 74

アンインストール方法 74

第 12 章　トラブルシューティング 75

紙づまりの処理 75
お問い合わせの多いトラブル 77
ソフトウェアの操作で困ったときは 79
役立つヒント集 80
保証とアフターサービス 82
サービス＆サポートのご案内 83

第 13 章　付録 84

仕様 84
交換部品 86
オプション 86
外形寸法図 86

第 1 章　はじめに

このたびはキヤノンドキュメントスキャナー imageFORMULA DR-P215II をお買い求めいただきありがとうございます。

本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご活用いただくために、本製品をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みください。また、お読みになったあとも大切に保管してください。

本書の読みかた 4

本製品の特長 5

各部の名称と機能 7

電源について 8

規制について 11

商標および登録商標について 11

動作環境 12

本書の読みかた

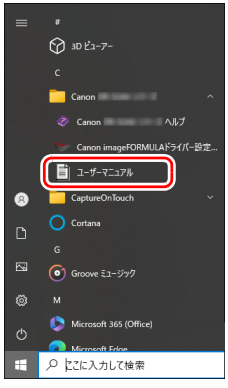
マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

- 安全にお使いいただくために
  本機をご使用になる前に必ずお読みになり、記載内容を守ってご使用ください。
- セットアップガイド
  本製品のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本製品をお使いになる前に、必ずお読みください。
- ユーザーマニュアル（本書）
  本製品の操作方法全般を説明したマニュアルです。

Windows

ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



Mac

ユーザーマニュアル（電子マニュアル）は、以下の場所に登録されます。

マニュアル内の表記について

本書で使用している記号・表示について説明します。本書をお読みになる前に、その意味を理解しておいてください。

警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

お願い

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

メモ

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

本製品の特長

DR-P215II の主な特長は以下のとおりです。

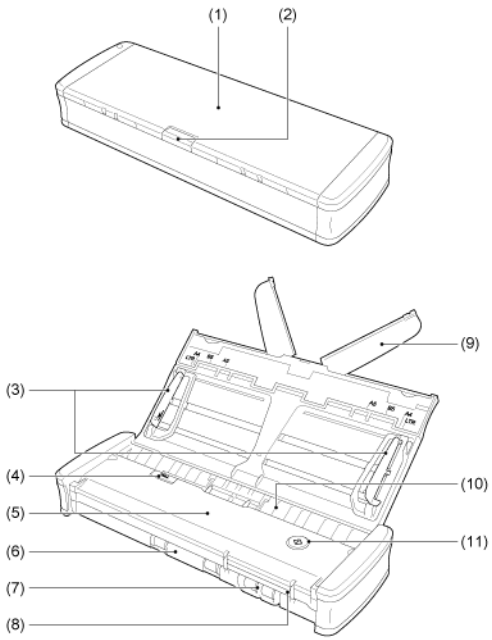
- コンパクトサイズ
  給紙トレイを閉じた状態で幅 285 mm× 高さ 40 mm× 奥行き 95 mm（11.22"×1.57"×3.74"）のコンパクトサイズです。
- バスパワー駆動
  給電のみ USB 3.0 に対応しているので、USB ケーブル 1 本によるバスパワー駆動でモノクロ（グレースケール）15 枚／分、24 ビットカラー 10 枚／分の速度でスキャンできます（どちらも A4 片面、200dpi でスキャンした場合）。
  USB 2.0 インターフェース使用時でも、AC アダプター（別売り）の併用で高速にスキャンできます。
- Auto Start 機能
  背面の Auto Start スイッチを「ON」にすると、スキャナーに内蔵されているソフトウェア「CaptureOnTouch Lite」を起動できます。ドライバーがインストールされていない環境でも、コンピューターをスキャナーに接続するだけでスキャンが可能です。
- 自動電源オン／オフ
  給紙トレイの開閉に連動して自動的に電源がオンまたはオフになります。
- フィーダー搭載
  標準的な厚さの原稿を 20 枚までセットし、連続または一枚ずつ給紙できます。
- Wi-Fi 送信機能
  本製品に WU10（オプション製品）を接続することにより、Wi-Fi 接続された PC やデバイスから本製品を操作して原稿を読み込むことができます。また、スキャンデータは Wi-Fi 接続されたスマートフォン、タブレット PC といったスマートデバイスなどに直接送信することが可能です。

- カードスロット搭載
  プラスチック製カードをスキャンするための専用スロットを搭載しています。
- CaptureOnTouch 同梱
  同梱のソフトウェアCaptureOnTouchをインストールすることで、通常のスキャンだけでなく、ジョブの登録による一連の手続きのスキャンまで、多彩なスキャン方法でスキャンできます。
- カラー／グレースケール対応
  原稿を24ビットカラーや256階調グレースケールでスキャンできます。
- 両面スキャン
  片面または両面スキャンに対応しています。白紙のページのスキャン画像の保存をスキップする「白紙スキップ機能」を使用することで、原稿が片面か両面かを気にせずにスキャンできます。
- カラー原稿自動検知
  読み取った原稿がカラーかグレーか、または白黒かを自動判別して画像を保存します。
- フルオートモード
  CaptureOnTouch Lite、CaptureOnTouch およびスキャナードライバーに、スキャン条件を自動的に決定する「フルオートモード」が用意されています。カラーモードや用紙サイズなどのスキャン条件が原稿に合わせて自動的に設定されます。
- 解像度の自動検知
  CaptureOnTouch Lite、CaptureOnTouch およびスキャナードライバーの設定により、原稿の内容から解像度を自動的に決定することができます。
- 原稿サイズ自動検知
  スキャンした原稿の用紙サイズを自動的に検知できます。定形外のサイズの原稿でも周囲の余白を省いてスキャンできます。
- 斜行補正
  原稿が斜めに給紙された場合でも、スキャン画像をまっすぐに補正できます。
- 文字強調モード
  背景が均一で、文字・背景がともに薄い原稿を、文字が読みやすくなるようにスキャンする「アドバンストテキストエンハンスメントII」を備えています。
  * 原稿によっては有効に機能しないことがあります。
- ドロップアウトカラー
  原稿の特定の色だけを読み取らないようにできます。
- 写真モード
  黒つぶれ・白とびを抑え、階調をより細かくスキャンできる、写真に適した補正をする機能を備えています。
- プレスキャン
  原稿の最初のページだけをスキャンし、そのスキャン画像を確認して明るさとコントラストを調整してから残りの原稿をスキャンできます。
- フィーダーの原稿の自動検知
  原稿を給紙トレイにセットすると、原稿を検知して自動的にスキャンを開始する自動スタート機能を備えています。

各部の名称と機能

本製品の各部の名称と機能について説明します。本製品を使用する前にご確認ください。

■前面・右側面



(1) 給紙トレイ
原稿を給紙するためのトレイです。原稿をスキャンするときに開きます。

(2) 給紙トレイ解除レバー
給紙トレイを開くときに、本体に固定された給紙トレイをこのレバーを押して解除します。

(3) 原稿ガイド
原稿がまっすぐに給紙されるようにするためのガイドです（左右に1つずつあります）。原稿をセットするときに立てて、スキャンする原稿の両端に合わせます。

(4) フィーダーカバー解除レバー
お手入れ時に、このレバーを引いてフィーダーカバーを開きます。

(5) フィーダーカバー
お手入れ時に開きます。

(6) 排紙口
スキャンが終わった原稿が排紙されます。

(7) カードスロット
プラスチック製カードを挿入します。

(8) カードガイド
カードスロットに挿入されたカードがまっすぐに給紙されるようにするためのガイドです。

(9) 給紙補助プレート
長い原稿をセットする場合に、このプレートを開いて原稿を支えます。

(10)給紙口
スキャンする原稿を挿入します。

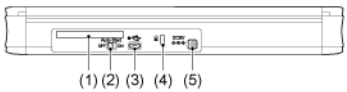
(11)スタートボタン
スキャンを開始するときに押します。
本機の電源が入っているときに点灯し、次のように本機の状態を示します。

スタートボタンの状態	意味
点灯	スキャナーの電源が入っています。
点滅	スキャナーが次のいずれかの状態です。 ・紙が詰まっている ・重送を検知してスキャンを停止している ・上部ユニットを開けている ・その他、スキャナーのエラーが発生している

お願い

USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、スタートボタンがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。

■背面



(1) カード折り返しスロット
給紙中のプラスチック製カードを一時的に排出します。

(2) Auto Start スイッチ
スキャナーの動作モードを切り替えます。

(3) USB コネクター
同梱されている(または Hi-Speed USB 2.0 に対応した)USB ケーブルを接続します。

(4) 盗難防止用の穴（セキュリティースロット）
キーチェーンなどを接続して盗難を防止します。

(5) 電源コネクター
別売りの AC アダプターを接続します。

メモ

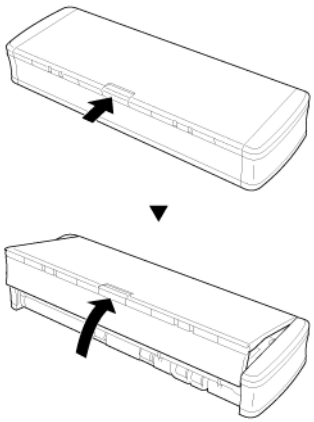
本機には電源スイッチはありません。詳細は「電源について」(→ P.8)を参照してください。

電源について

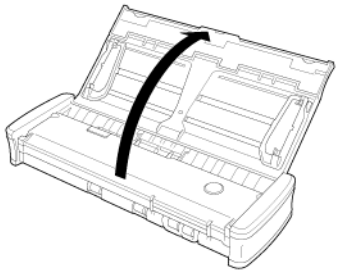
本機は、給紙トレイの開閉に応じて電源が入るようになっています。電源を入れたり切るときは、次のように操作します。

電源を入れる

1 給紙トレイ解除レバーを押しながら、給紙トレイを少し持ち上げます。



2 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を開いてから、給紙トレイを開きます。
スキャナーの電源がオンになり、スタートボタンが点灯します。

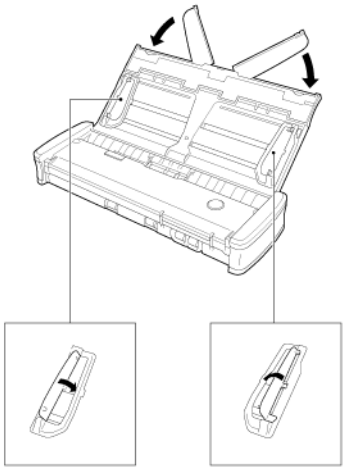


お願い

USB ケーブルを接続して給紙トレイを開くと、スタートボタンがゆっくり点滅することがあります。点滅が終了して点灯に変わってからスキャナーを使用してください。

電源を切る

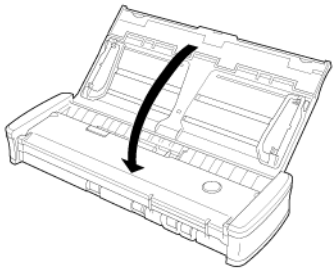
1 給紙補助プレートと原稿ガイドを立てているときは、給紙補助プレートを収納し、原稿ガイドを倒します。



お願い

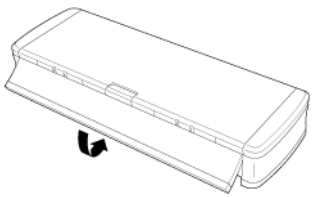
原稿ガイドを開いたまま給紙トレイを閉じないでください。本体に傷が付いたり、故障の原因となります。

2 給紙トレイを閉じます。



スキャナーの電源がオフになります。

3 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を押して給紙トレイを閉じます。



お願い

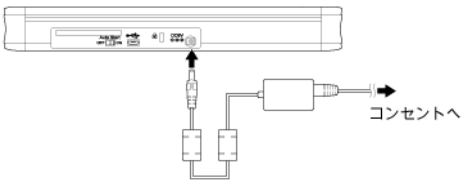
- スキャナーを使用しないときは、スキャナーの給紙トレイを閉じるか、USB ケーブルを抜いてください。
- 運搬時は前カバーを開けないでください。給紙トレイが開き落下の原因となります。

補助電源を使用する

本機はバスパワー駆動により 1 本のUSB ケーブルでのスキャンができますが、AC アダプター（別売り）を使用することにより、より高速にスキャンできます。

ACアダプター(別売り)は、背面の電源コネクターに接続して使用します。

■ AC アダプター（別売り）



メモ

USB 3.0 に対応した USB ポートに接続したときは、900mA のバスパワー駆動となり、高速にスキャンできます。

なお、本製品の USB 3.0 対応は 電源供給のみです。USB の転送速度は USB 2.0 相当となります。

規制について

■ 国際エネルギースタープログラムについて

このプログラムは日本向けのものです。
当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをして下さい。　VCCI-B

■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- 紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便切手、印紙、その他の金券
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券
- 公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には ™、® マークは明記していません。

Copyright © CANON ELECTRONICS INC. 2014 ALL RIGHTS RESERVED

動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

- コンピューター
  - CPU：Intel Core 2 Duo 1.66GHz 以上 Windows
    Intel Core i7 2.3GHz 以上 Mac
  - メモリー：1GB 以上 Windows
    8GB 以上 Mac
  - ハードディスク：すべてのソフトウェアをインストールするために、3GB 以上の空き容量
  - USB インターフェイス：Hi-Speed USB2.0
  - モニター：解像度 1024×768（XGA）以上
- オペレーティングシステム
  - Microsoft Windows 10 （32 ビット版 /64 ビット版）
  - Microsoft Windows 11
  - Microsoft Windows Server 2016
  - Microsoft Windows Server 2019
  - Microsoft Windows Server 2022
  - macOS 12
  - macOS 13
  - macOS 14

  2023 年 12 月現在の環境です。

  最新のソフトウェアサポート状況はキヤノンホームページの製品ページをご参照ください。
- その他
  - 上記のシステム環境で正常に動作するISIS 互換アプリケーションソフトウェア（Windows のみ）または TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
  - .NET Framework 4.6.2 以降（Windows のみ）

お願い

- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed （USB1.1 相当）の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。

64 ビット版オペレーティングシステムで使用する場合の注意事項（Windows のみ）

- 本製品の ISIS/TWAIN ドライバーでのスキャンが可能なのは 32 ビット版アプリケーションに限られます。

第２章　安全にお使いいただくために

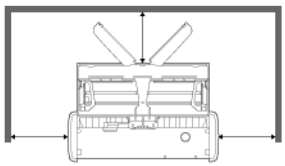
本製品を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

設置する場所について 13
「AC アダプター（別売り）および電源コードについて」..... 14
本製品の移動について 14
日常の取り扱いについて 14
廃棄する場合について 15
本製品を修理のために送付するときは 15

設置する場所について

本製品の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本製品の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 本製品後方に読み取った原稿を排紙するためのスペースを十分確保してください。
- 直射日光の当たらない場所でご使用ください。
- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。

  室温　　10 ℃～ 32.5 ℃（50°F ～ 90.5°F）

  湿度　　25%（RH）～ 80%（RH）
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

「AC アダプター（別売り）および電源コードについて」

- 指定された AC アダプター（別売り）および電源コード以外は使用しないでください。また、本製品用の AC アダプター（別売り）および電源コードを他の製品に使用しないでください。
- USB ケーブル 1 本による USB 2.0 接続の場合で、高速に動作させたい場合は AC アダプター（別売り）をご購入ください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

本製品の移動について

- 本機を移動する場合は、本機を落とさないように必ず両手でしっかり持ってください。
- 本機を移動する場合は、USB ケーブルや AC アダプター（別売り）を、必ず外しておいてください。ケーブル類を付けたまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクターが損傷することがあります。

日常の取り扱いについて

警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- USB ケーブルを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で USB ケーブルを抜き差ししないでください。
- USB ケーブルを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- 付属の USB ケーブル以外は使用しないでください。
- 本機を分解したり、改造しないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。
- USB ケーブルを抜くときは、必ずコネクターを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。

植え込み型心臓ペースメーカーをご使用の方へ

本製品からは微弱な磁気が出ています。植え込み型心臓ペースメーカーなどをご使用の方は、異常を感じたら速やかに本製品から離れ、医師にご相談ください。

⚠注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 本製品の上には、クリップ、ステイプルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルを抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本製品の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- USB ケーブルを抜くときは、必ずコネクターを持って抜いてください。USB ケーブルを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、USB ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも USB ケーブルが抜けるように、USB ケーブルの周りには物を置かないでください。非常時に USB ケーブルが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず USB ケーブルを抜いてください。
- 本製品を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本製品に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本製品に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などはご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

廃棄する場合について

本製品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

本製品を修理のために送付するときは

本製品の修理を依頼するときは、指定された送付先に本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかりと固定していただくようお願いいたします。

第３章　スキャナーを接続する

本製品をコンピューターに接続します。

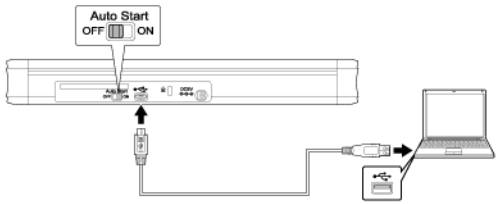
コンピューターと接続する 16
電源を入れる.....17

コンピューターと接続する

本製品をコンピューターと接続します。

コンピューターとの接続

背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にしてから、同梱の USB ケーブルでスキャナーをコンピューターに接続します。



・スキャン中など、スキャナーとコンピューターの間でデータを転送しているときに、USB ケーブルを抜かないように注意してください。
・スキャナーとの接続に使用するコンピューターのUSBコネクターには、500 mA / 5 V の電源が供給されている必要があります。
・ソフトウェアをインストールする前にスキャナーをコンピューターに接続しないでください。

メモ

USB 3.0 に対応した USB ポートに接続したときは、900mA のバスパワー駆動となり、高速にスキャンできます。

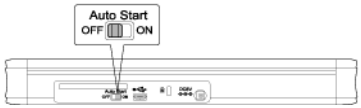
なお、本製品の USB 3.0 対応は 電源供給のみです。USB の転送速度は USB2.0 相当となります。

USB HUB の使用について

本機は、バスパワータイプの USB HUB を介してコンピューターに接続して使用することはできません。セルフパワータイプの USB HUB は使用できますが、動作を保証するものではありません。

Auto Start スイッチについて

スキャナーの背面には、スキャナーをストレージデバイスとして動作させるかどうかを切り替えるための Auto Start スイッチがあります。



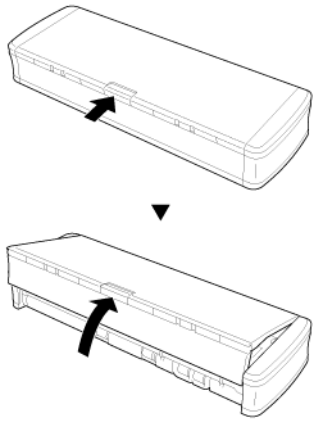
Auto Start スイッチの位置によって、スキャナーは次のように動作します。

スイッチの位置	スキャナーの動作
ON	本機がストレージデバイスとしてコンピューターに認識されます。スキャナーに内蔵されているソフトウェア CaptureOnTouch Lite を起動して、スキャナードライバーをインストールしていないコンピューターでもスキャンができます。(スキャナー本体にスキャン画像などのデータを保存することはできません。)
OFF	本機がスキャナーデバイスとしてコンピューターに認識されます。スキャナードライバーがインストールされているコンピューターに接続して、同梱の CaptureOnTouch などのアプリケーションを使用してスキャンできます。

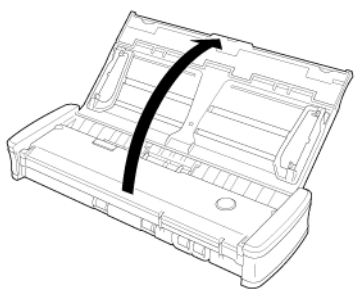
・Auto Start スイッチの切り替えは、コンピューターに接続する前に行ってください。コンピューターに接続した後で Auto Start スイッチを切り替えると正常に動作しないことがあります。
・Auto Start スイッチを「ON」にして使用する場合、スキャナーをコンピューターに接続する前にコンピューターを起動しておく必要があります。起動していないコンピューターにスキャナーを接続し、スキャナーの給紙トレイを開いて電源を入れた状態では、コンピューターが起動できないことがあります。

電源を入れる

1 給紙トレイ解除レバーを押しながら、給紙トレイを少し持ち上げます。
本製品は、給紙トレイの開閉に連動して電源が入ります。



2 給紙トレイの手前の部分（前カバー）を開いてから、給紙トレイを開きます。
スキャナーの電源がオンになり、スタートボタンが点灯します。



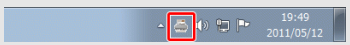
メモ

Windows

初めて本製品の電源を入れたときには、Windows のタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本製品が使用できるようになります。

スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの（CaptureOnTouch）アイコンが次のように表示されます。

Windows



Mac

タスクバーのアイコンの表示が または になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源と USB ケーブルの状態を確認してください。

第４章　原稿をセットする

原稿のセット方法について説明します。

原稿について.....19
原稿のセット.....21
カードのセット.....22
長尺モードの設定.....23

原稿について

本製品は、名刺、小切手などの大きさから A4/LGL サイズまでの原稿を読み取ることができます。読み取ることができる原稿の大きさは以下のとおりです。

普通紙

サイズ	幅 50.8 ～ 216mm（2" ～ 8.5"）× 長さ 70 ～ 356mm（2.756" ～ 14"）
紙厚	52 ～ 128g/m^2（0.06 ～ 0.15mm（0.0024" ～ 0.0059"））
最大積載枚数	約 20 枚（64g/m^2 紙） 積載高さ 3mm まで

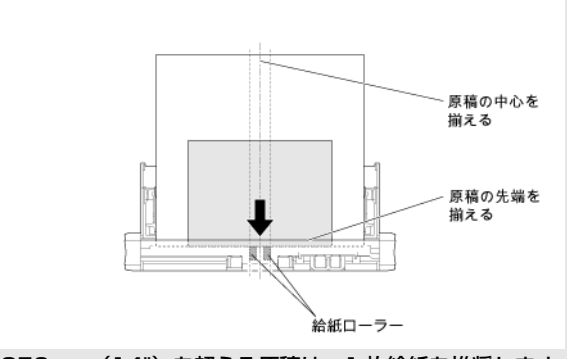
注意

長尺モード時の長さは最大 1000 mm（39.4"）です。

お願い

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚のサイズが異なる原稿を一度に読み取るときは、原稿が給紙ローラーの全幅にかかるように、原稿の先端と中心を揃えてセットしてください。



- 356mm（14"）を超える原稿は、1 枚給紙を推奨します。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取ったあとは、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整してから実行してください。
- 薄い紙は、1 枚給紙を推奨します。

次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。

- しわや折り目が入っている。
- カーボン紙。
- カール（巻き付け）がある。
- 表面がコーティングされている。
- 破れている。
- 半透明の薄紙など極端に薄い。
- クリップやステイプルの針が付いている。
- 紙粉が出やすい紙

ポストカード

サイズ	幅 88.9 ～ 108mm（3.5" ～ 4.25"）× 長さ 127 ～ 152.4mm（5" ～ 6"）
紙厚	128 ～ 225g/m^2（0.15 ～ 0.3mm（0.0059" ～ 0.00118"）

名刺

サイズ	幅 49 ～ 55mm（1.93" ～ 2.17"）× 長さ 85 ～ 91mm（3.35" ～ 3.58"）
紙厚	128 ～ 225g/m^2（0.15 ～ 0.3mm（0.0059" ～ 0.00118"））

カード（プラスチック製のもの）

サイズ	86mm（3.39"）× 54mm（2.13"）（ISO/IEC 規格準拠）
カード厚	0.76mm（0.03"）以下
挿入方向	縦送りのみ
エンボス付き	可能 厚さ 1.4 mm（0.055"）まで

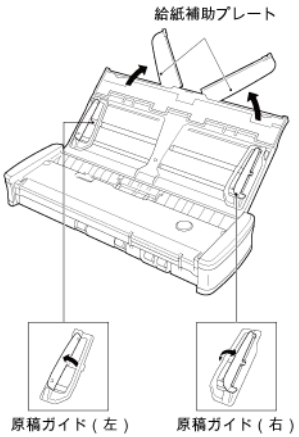
注意

- カードはカードスロットを使用します。
- エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られない場合があります。

原稿のセット

1　給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れます。

2　原稿ガイドと、給紙補助プレートを立てます。



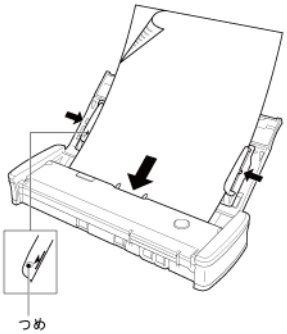
3　原稿をセットします。

・　原稿をよくさばいてからセットしてください。

・　原稿の先端の折り目やしわはまっすぐに直してください。
・　原稿の裏面を手前にし、上端から給紙口に挿入してください。

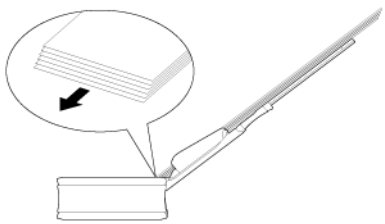
4　原稿ガイドを、セットした原稿の両端に合わせてください。

・　原稿を、原稿ガイドのつめの下に押し込んでください。
・　一度にセットできる原稿の枚数は、一般的な普通紙で 20 枚までです。原稿ガイドの積載制限マーク（▼）を超えないようにしてください。



注意

■　複数枚の原稿をセットするときは、先端を少し斜めにずらしてください。



■　原稿が反っているときは、まっすぐに直してからセットしてください。
■　スキャンされた原稿が前から排出されます。スキャナーの手前に物を置かないようにしてください。

- 重送が起こる場合は、一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。
- レシート等の小さな原稿を複数枚スキャンする場合は、原稿幅の同じものにしてください。
- 紙の質によっては、給紙時に異音が発生することがありますが、故障ではありません。

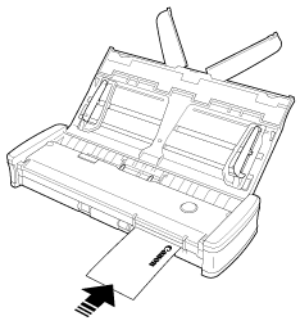
カードのセット

プラスチック製のカードをスキャンするときは、カードスロットを使用します。次の手順で 1 枚ずつスキャンします。

1 給紙トレイを開きます。

2 カードを縦向きにし、表面を上に向けてカードスロットにまっすぐに挿入します。

カードの先端をカードスロットに当てると、ローラーが自動的に回転します。カードの先端のみを掴んだらローラーが停止しますので、カードから手を離し、アプリケーションでスキャンを開始してください。



アプリケーションでスキャンを開始すると、カードが給紙されます。カード全体が給紙されたところで、ローラーが反対方向に回転し、カードのスキャンが開始します。スキャンが終わったカードは手前に排紙されます。

注意

- 給紙トレイに原稿がセットされているときは、カードスロットは使用できません。カードスロットにカードを挿入するときは、給紙トレイから原稿を取り除いてください。
- スキャン中にカードがスキャナーの背面のカード折り返しスロットから出てきます。カード折り返しスロットの前にものを置かないでください。

■ エンボス付きのカードは、エンボスの状態によっては適切な画像が得られないことがあります。

長尺モードの設定

本機でスキャンすることができる原稿の長さは、標準で 356mm（14"）までですが、長尺モードに設定すると最大 1,000mm（39.4"）までの原稿をスキャンできます。

お願い

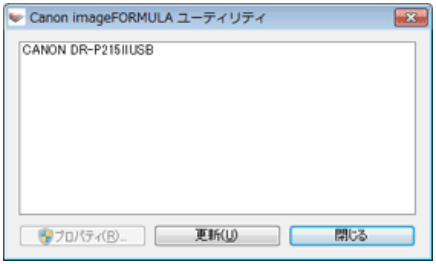
長尺モードに設定し、スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］の設定を自動検知にすると、1,000mm までの長さの原稿を検知してスキャンできます。長尺モードに設定したときは、以下の項目に注意してください。

- 長尺原稿をスキャンするときは、給紙補助プレートを閉じてください。
- 長尺原稿をスキャンするときに原稿が傾いてセットされると、本機の給紙部の両端に当たり、原稿が破損することがあります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンすると、紙づまりの検知が遅れて原稿が破損することがあります。紙づまりには十分注意してください。
- 長尺原稿をスキャンするときは、必ず 1 枚ずつスキャンしてください。
- 長尺モードでサイズの大きな原稿をスキャンすると、スキャンに時間がかかることがあります。また、メモリー不足によってエラーが発生し、スキャンできなくなることがあります。

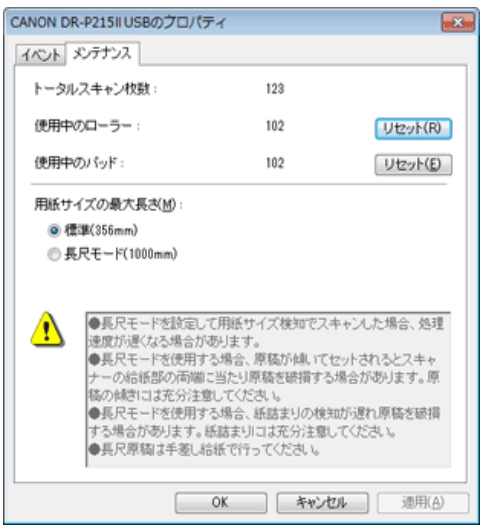
Windows

1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。

2 スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム]、[Canon DR-P-xxx]、[Canon imageFORMULA ユーティリティ]の順にクリックします。
imageFORMULA ユーティリティが起動します。



3 [CANON DR-P-xxx USB] をクリックし、[プロパティ] をクリックします。
メンテナンスタブをクリックし、長尺モードを指定します。
[長尺モード（1000mm)] を選択してください。



（機種によっては、[イベント] タブは表示されません。）

4 [OK] をクリックします。

Mac

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。→「スキャンモードの設定」

2 [詳細設定ダイアログボックスを使う] を有効にしてから、[設定] ボタンをクリックします。
スキャナードライバーの設定画面が開きます。

3 （情報ボタン）をクリックします。
[スキャナーの情報] ダイアログボックスが開きます。

4 [メンテナンス] をクリックします。
[メンテナンス] ダイアログボックスが開きます。

5 ［長尺（1000mm)］を選択します。

6 をクリックしてダイアログボックスを閉じます。

第５章　CaptureOnTouch Lite でスキャンする

CaptureOnTouch Lite でスキャンする手順について説明します。

CaptureOnTouch Lite でスキャンする.....26
CaptureOnTouch Lite の起動と終了.....31
スキャン画像編集画面の操作.....32
スキャンモードの設定.....35
出力先の設定.....36
環境設定.....38

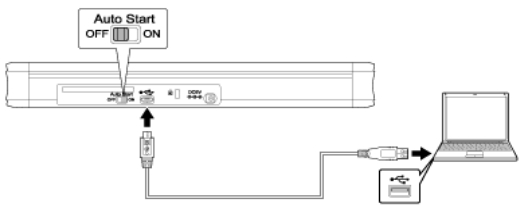
CaptureOnTouch Lite でスキャンする

CaptureOnTouch Lite は、スキャナーに内蔵されている簡易スキャニングアプリケーションです。スキャナードライバーがインストールされていないコンピューターでも動作します。

スキャンモードパネルと出力先パネルをクリックし、［スキャン］ボタンをクリックすると原稿がスキャンされます。原稿の種類や使用目的に応じたスキャン方法を選択してスキャンすることができます。

スキャンの手順

1　スキャナーの背面の Auto Start スイッチを「ON」の位置にしてから、スキャナーをコンピューターに接続します。

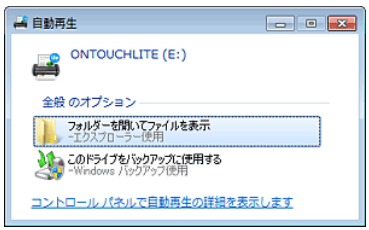


2　給紙トレイを開いてスキャナーの電源を入れ、原稿をセットします。

Windows

詳細は「原稿のセット」(P.21) を参照してください。
給紙トレイを開くと、スキャナーのスタートボタンが点灯し、[自動再生] 画面が表示されます。

(1)CaptureOnTouch Lite のアイコンをクリックします。



CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

お願い

CaptureOnTouch Lite のメイン画面が表示されるまでは、給紙トレイを閉じないでください。

メモ

- お使いの環境によっては [自動再生] 画面が表示されないことがあります。Windows エクスプローラーなどで「ONTOUCHLITE」と表示されているドライブを開き、OnTouchL.exe を直接ダブルクリックして起動してください。
  なお、OS によってはドライブ名「ONTOUCHLITE」が表示されないことがあります。OnTouchL.exe が存在するドライブを開いて直接起動してください。
- OS によっては、[自動再生] 画面に [CaptureOnTouch Lite] が表示されることがあります。この場合は [CaptureOnTouch Lite] をダブルクリックして CaptureOnTouch Lite を起動できます。

Mac

詳細は「原稿のセット」(P.21) を参照してください。
給紙トレイを開くと、スキャナーの電源ボタンが点灯し、以下の Finder が自動的に表示されます。[CaptureOnTouch Lite Launcher] のアイコンをクリックすると、CaptureOnTouch Lite が起動し、メイン画面が表示されます。

メモ

CaptureOnTouch Lite を動作させるには、[CaptureOnTouch Lite for Mac] と [ONTOUCHLITE] の両方のフォルダーがマウントされている必要があります。

macOS では、初めて CaptureOnTouch Lite を起動したときに、リムーバルボリュームへアクセスに関するメッセージ画面が表示されます。必ず [OK] をクリックしてください。詳細は macOS でお使いのときはを参照してください。

3 スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色に変わります。スキャンモードパネルを編集する場合は、「スキャンモードの設定」(P.35)を参照してください。

4 スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択したスキャンモードパネルがオレンジ色に変わります。出力先パネルを編集する場合は、「出力先の設定」(P.36)を参照してください。

5 [スキャン]ボタンをクリックします。

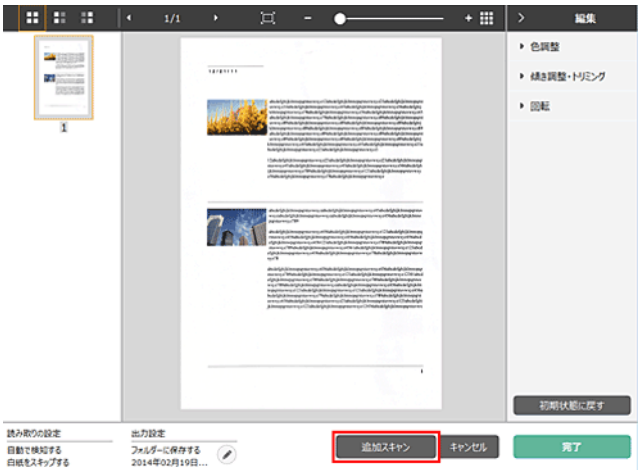
原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。
スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

お願い

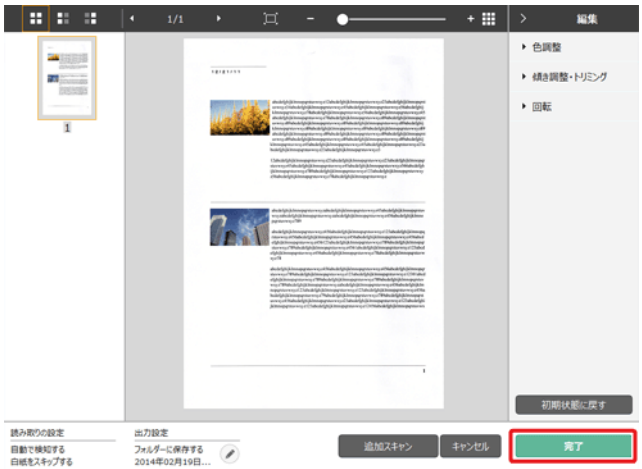
コンピューターのメモリーを大量に使用する条件でスキャンを行った場合、メモリ不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリ不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。

メモ

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから［追加スキャン］ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



6 スキャン画像を確認したら［完了］ボタンをクリックします。

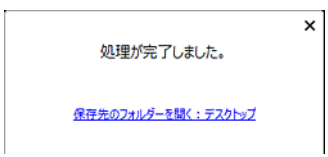


スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(P.32) を参照してください。

ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。→「出力先の設定」

［キャンセル］ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

7 出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。



メモ

印刷またはメール添付以外の出力方法を指定したときは、［保存先のフォルダーを開く］ボタンが表示されます。スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。

macOS でお使いのときは

macOSで初めてCaptureOnTouch Liteを起動したときに、アプリケーションが起動するまでに 2 回メッセージ画面が表示されます。どちらの画面でも［OK］をクリックしてください。詳細は次の手順に従います。

1 **CaptureOnTouch Lite Launcher 起動時に、下記の画面が表示されます。［OK］をクリックして画面を閉じ、次の手順に進みます。**

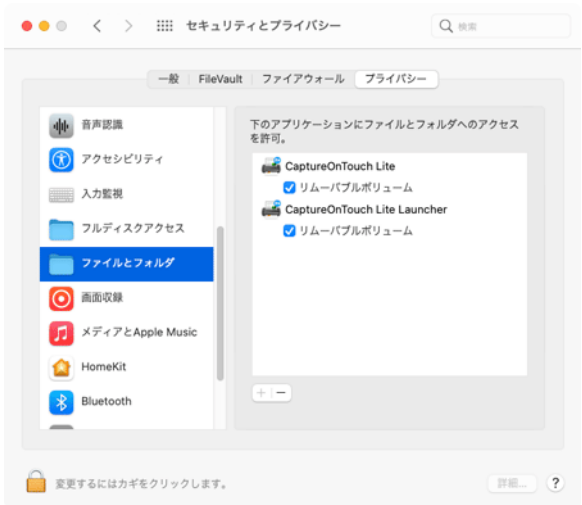
［許可しない］をクリックした場合、エラーメッセージが表示され、CaptureOnTouch Lite Launcher が起動できません。「macOS のシステム環境設定」（P.30）を参照してください。

2 **CaptureOnTouch Lite Launcher経由でCaptureOnTouch Liteが起動したときに、下記の画面が表示されます。前の手順と同様に［OK］をクリックして画面を閉じます。CaptureOnTouch Lite が起動します。**

［許可しない］をクリックした場合でも CaptureOnTouch Lite は起動しますが、エラーメッセージが表示されてスキャン操作ができません。「macOS のシステム環境設定」（P.30）を参照してください。

macOS のシステム環境設定

はじめて CaptureOnTouch Lite Launcher を起動したときに表示されたメッセージ画面で［許可しない］をクリックすると、CaptureOnTouch Lite を使用できなくなります。この場合は、［システム環境設定］を開き、［セキュリティとプライバシー］の［プライバシー］タブの［ファイルとフォルダ］をクリックします。一覧に表示されている［CaptureOnTouch Lite Launcher］と［CaptureOnTouch Lite］の両方の［リムーバブルボリューム］をオンにしてください。



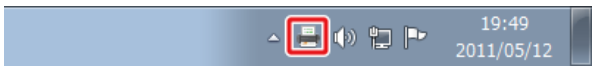
CaptureOnTouch Lite の起動と終了

CaptureOnTouch Lite で起動すると、CaptureOnTouch Lite がシステムに常駐します。

メモ

背面のAuto Startスイッチを「ON」の位置にしないとCaptureOnTouch Lite は起動しません。詳細は「コンピューターと接続する」(P.16) を参照してください。

Windows



タスクバーの(CaptureOnTouch Lite アイコン) をダブルクリックすると、CaptureOnTouch Lite が起動し、メインウィンドウが表示されます。

CaptureOnTouch Lite のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部のをクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

Mac

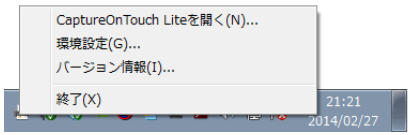
メニューバーの(CaptureOnTouch Lite アイコン) をクリックし、表示されるメニューの［CaptureOnTouch Lite を起動する］をクリックすると、CaptureOn Touchが起動し、メインウィンドウが表示されます。

CaptureOnTouch Lite のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部のをクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch Lite の常駐を終了するには

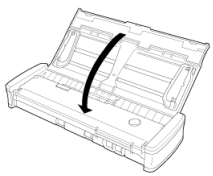
Windows

1 タスクバーの(CaptureOnTouch Lite アイコン) をクリックし、メニューの［終了］をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

2 給紙トレイを閉じます。

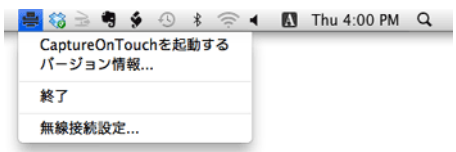


スキャナーの電源がオフになります。

3 USB ケーブルをスキャナーとコンピューターから抜きます。

Mac

1 メニューバーの(CaptureOnTouch Lite アイコン) をクリックし、メニューの［終了］をクリックします。

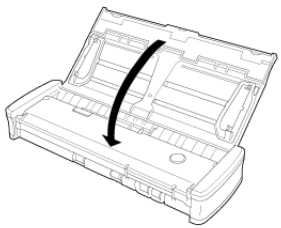


2 [ONTOUCHLITE] フォルダーと [CaptureOnTouch Lite for Mac] フォルダーを [ごみ箱] にドラッグ & ドロップします。

メモ

フォルダーをゴミ箱に移動したときにメッセージが表示された場合は、[強制的に取り出す] をクリックしてください。この操作による CaptureOnTouch Lite の動作への影響はありません。

3 給紙トレイを閉じます。



スキャナーの電源がオフになります。

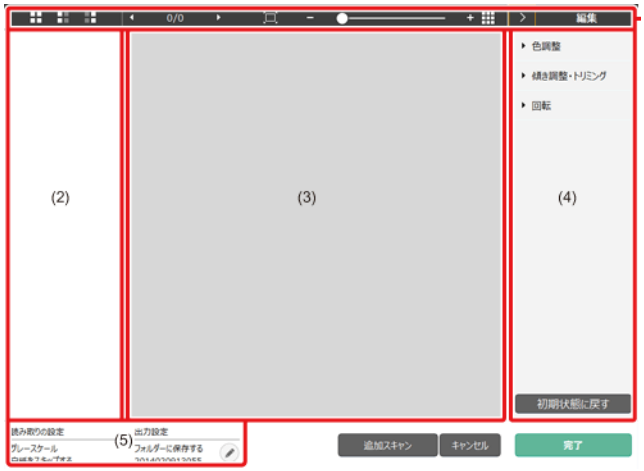
4 USB ケーブルをスキャナーとコンピューターから抜きます。

スキャン画像編集画面の操作

スキャンが完了すると、スキャンした画像のプレビュー画面が表示されます。

プレビュー画面に編集ウィンドウを表示するには、ツールバーの をクリックします。

スキャン画像編集画面



(1) ツールバー

サムネイルやプレビュー画像を操作するツールバーです。

ツールボタン	説明
	サムネイルの画像選択を切り替えます。 左から、「全選択」、「奇数ページ選択」、「偶数ページ選択」の順に動作します。
1/3	プレビューに表示されているページを表示します。 をクリックすると、表示ページが切り替わります。
	プレビューの表示倍率を変更します、スライダーを +、- の方向へ動かすことで、プレビュー画像が拡大 / 縮小します。 をクリックすると、プレビューの表示倍率を画面にフィットさせます。
	クリックすると、プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
編集	をクリックすると、編集ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。

(2) サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。

サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビューウィンドウに表示されます。

サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます

(3) プレビューウィンドウ

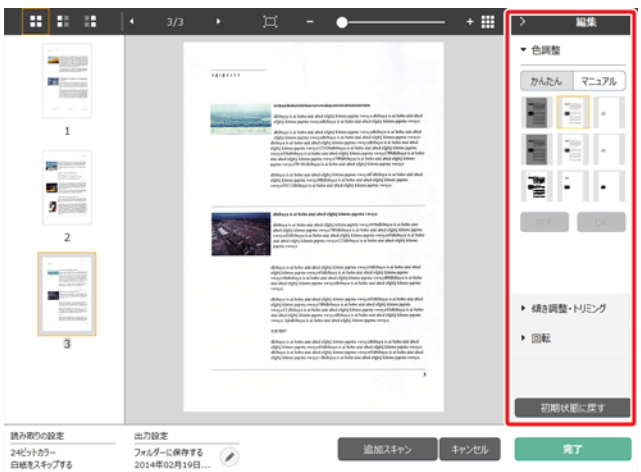
スキャン原稿のプレビュー画像が表示されます。

(4) 編集ウィンドウ

スキャン原稿の編集が行えます。
各項目をクリックすると、編集画面が開きます。

［初期状態に戻す］ボタンをクリックすると、編集結果を破棄してスキャン直後の画像に戻ります。

色調整（かんたん設定）



［色調整］をクリックすると最初に表示されます。

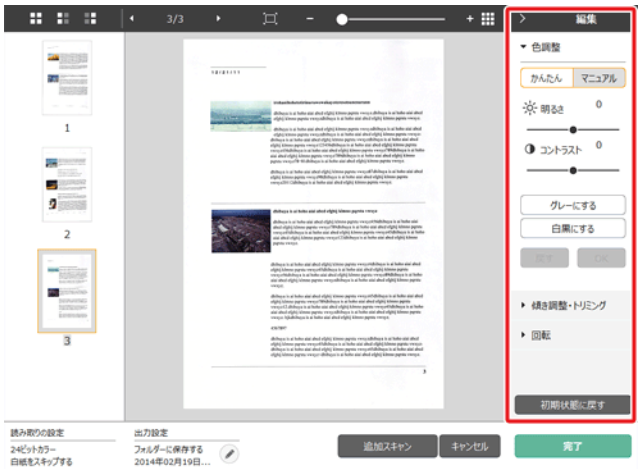
かんたん設定とマニュアル設定は、ボタンをクリックすると交互に表示されます。

かんたん色調整では、サムネイル画像をクリックして、最も適したプレビュー画像が表示されるものを選択します。

サムネイル画像は、対象画像がカラーのときに 9 パターン、グレースケールのときに 6 パターン表示されます。

調整が終わったら［OK］ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は［戻す］ボタンをクリックします。

色調整（マニュアル設定）



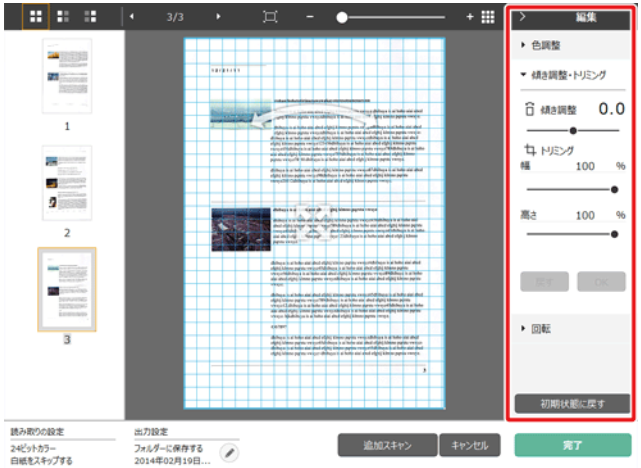
明るさとコントラストを、プレビュー画像を確認しながらスライダーを左右に動かすことで調整できます。

［グレーにする］ボタンをクリックすると、グレースケール画像になります。

［白黒にする］ボタンをクリックすると、白黒 2 値の画像になります。

調整が終わったら［OK］ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は［戻す］ボタンをクリックします。

傾き調整・トリミング

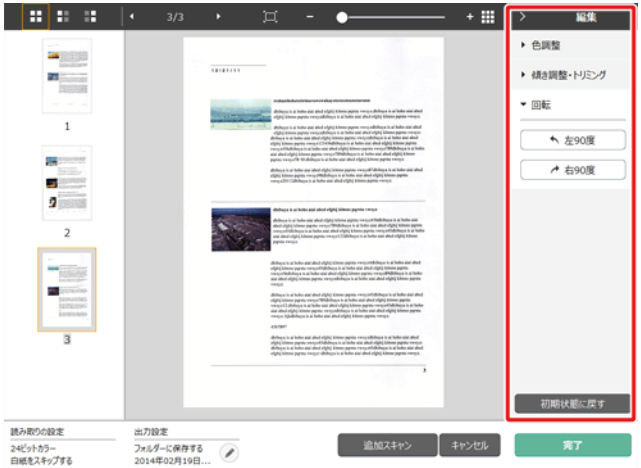


[傾き補正・トリミング] をクリックすると表示されます。
傾き補正とトリミングを、プレビュー画像とスライダーのどちらからでも調整できます。

プレビュー画像では、移動グリップ、傾き調整グリップやトリミング枠を直接ドラッグすることで、傾きやトリミングの調整が行えます。トリミングを行った後に、プレビュー画面上で移動グリップをドラッグすると、切り出す範囲を変更することができます。

調整が終わったら［OK］ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は［戻す］ボタンをクリックします。

回転



[回転] をクリックすると表示されます。
スキャン画像を左 90 度または右 90 度に回転します。プレビュー画像を確認しながら調整できます。

(5) 情報表示領域

スキャンモードと出力先の情報を表示します。

ボタンをクリックすると、出力設定ダイアログが表示されます。

[追加スキャン] ボタンをクリックすると、継続スキャンを開始します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄し、トップ画面に戻ります。

[完了] ボタンをクリックすると、出力処理を開始します。出力が終了すると、トップ画面に戻ります。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

スキャンモードの設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch Lite はおまかせモードでのスキャン設定が有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。

原稿サイズ、カラーモードなどの設定を指定したい場合に、スキャンモードパネルを編集して、任意のスキャン条件を設定できます。

スキャンモードパネルの新規作成

スキャンモードエリアの［新規作成］ボタンをクリックすると、スキャンモードパネルが新規作成されます。

または、［新規作成］ボタンの▼をクリックして表示されるメニューから、スキャンモードの種類を選択して新規作成することもできます。

スキャンモードパネルの編集

スキャンモードパネルの✎ボタンをクリックすると、スキャンモードパネル編集ダイアログが表示されます。

読み取りの設定

読み取り条件の設定を行います。

カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

自動で検知する	原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。
24 ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒にする	原稿を白黒二値でスキャンします。

用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

［原稿のサイズに合わせる］を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

解像度

スキャンの解像度を指定します。

［自動で検知する］を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

［白紙をスキップする］を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めに給紙されたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

設定を次の中から選択します。

［OFF］

［搬送時の原稿の傾きを補正する］

［画像の傾きを補正する］

文字の向きに合わせて画像を回転する

この項目を有効にすると、読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

詳細設定ダイアログボックスを使う

スキャンモードの設定には、［読み取りの設定］で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

［詳細設定ダイアログボックスを使う］を有効にすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックス（スキャナードライバー）で行います。スキャナードライバーを開くには、この項目を有効にしてから、［設定］ボタンをクリックします。

メモ

ドライバーの設定ダイアログボックスには、［読み取りの設定］の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。

スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、［詳細設定ダイアログボックスを使う］チェックボックスの設定によって次のように異なります。

［詳細設定ダイアログボックスを使う］の設定	基本項目	基本項目以外
無効	［読み取りの設定］の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
有効	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

基本項目以外の設定項目の詳細については、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

全般

スキャンモードの名称やアイコンを設定します。

名前

スキャンモードパネルに表示される名前を入力します。

アイコン

スキャンモードパネルに表示されるスキャンモードのアイコンを変更できます。

［アイコンを変更する］にチェックを付けると、［設定］ボタンが有効になり、ファイルの選択ができます。

アイコンファイルとして選択できるファイル形式は以下のとおりです。

Windows

- .ico、.exe、.jpg、.png

Mac

- .icns、.app、.jpg、.png

出力先の設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch Lite はスキャン画像を PDF ファイルに変換してフォルダーに保存する設定が有効になっています。

出力方法や保存場所を指定したい場合に、出力先パネルを編集して、任意の出力先を設定できます。

出力先パネルの新規作成

［新規作成］ボタンをクリックすると、出力先パネルが新規作成されます。

［新規作成］ボタンの▾をクリックして表示されるメニューから、出力先を選択して新規作成することもできます。

出力先パネルの編集

出力先パネルの✎ボタンをクリックすると、出力先パネル編集ダイアログが表示されます。

出力方法の選択

選択した出力方法によって、選択できるファイル形式や保存場所が異なります。

フォルダーに保存する

スキャンした画像を、指定したフォルダーに保存します。この出力方法を指定したときは、保存場所のフォルダーを設定します。

その他の出力方法

CaptureOnTouch Lite では、[フォルダーに保存する] 以外の出力方法は、プラグインとして提供しています。

プラグインをインストールすることによって、スキャン画像の印刷やメール添付などの他、さまざまなサービスを利用することができます。

プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時に、チェックをつけてインストールすることができます。

インストールしているプラグインによって、選択できる出力方法は異なります。

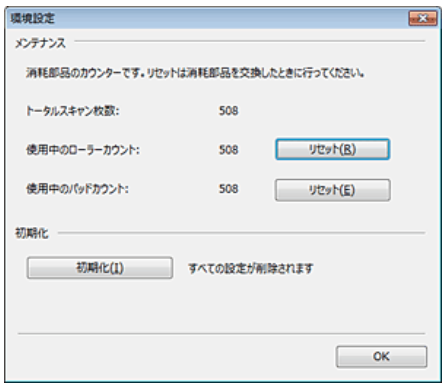
各プラグインの使用方法については、プラグインのヘルプを参照してください。

環境設定

Windows
Mac

Windows

［環境設定］ダイアログボックスでは、CaptureOnTouch Lite のメンテナンスや初期化が行えます。



メンテナンス

スキャナーの総スキャン枚数と、ローラーと分離パッドのカウンターを確認できます。ローラーと分離パッドの交換後に、ここでカウンターをリセットできます。

初期化

設定をすべて初期値に戻します。

Mac

［環境設定］ダイアログボックスを開いて、CaptureOnTouch Lite の動作に関する設定ができます。

1 CaptureOnTouch Lite を起動します。

CaptureOnTouch Liteを起動していないときは、[CaptureOnTouch Lite for Mac］フォルダーの［CaptureOnTouch Lite Launcher］をダブルクリックします。

CaptureOnTouch Lite の起動後にメインウィンドウを閉じているときは、メニューバーから起動してください。

2 ［CaptureOnTouch Lite］メニューの［環境設定］をクリックします。

［環境設定］ダイアログボックスが開きます。

この画面では次の設定ができます。

［メンテナンス］タブ

初期化

設定をすべて初期値に戻します。

第 6 章　CaptureOnTouch でスキャンする

CaptureOnTouch でスキャンする手順について説明します。

CaptureOnTouch とは.....39

CaptureOnTouch とは

CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。

操作や機能の詳細は、CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。

第 7 章　スキャナードライバーの設定

ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。 Windows

メモ

- ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで［初期値］をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバーの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

ISIS 互換または TWAIN 互換アプリケーション（CaptureOnTouch など）で原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。

ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

スキャナードライバーの構成と機能 40
　ドライバーダイアログ 40
　スキャンパネル 43
基本的なスキャン条件の設定 44
モードの設定による機能制限 46

スキャナードライバーの構成と機能

ドライバーダイアログ

→ Windows

→ Mac

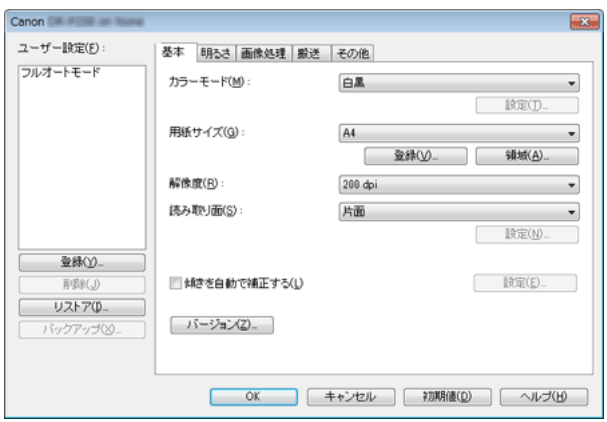
Windows

スキャナードライバーは次のタブで構成されています。

メモ

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの［ヘルプ］ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

［基本］タブ



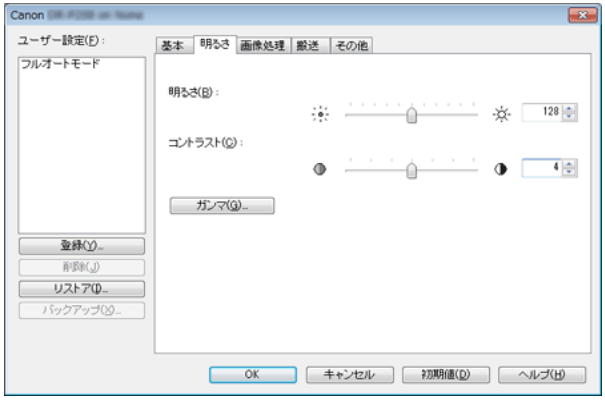
モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

［領域］ボタンをクリックして、スキャンする領域を指定することもできます。

メモ

ISIS 互換アプリケーションによっては、スキャン条件をアプリケーション独自の画面で設定することがあります。このようなアプリケーションでスキャナードライバーを開いた場合、［基本］タブにはスキャン条件以外のスキャナードライバーが提供する機能に関する設定項目が表示されます。

［明るさ］タブ



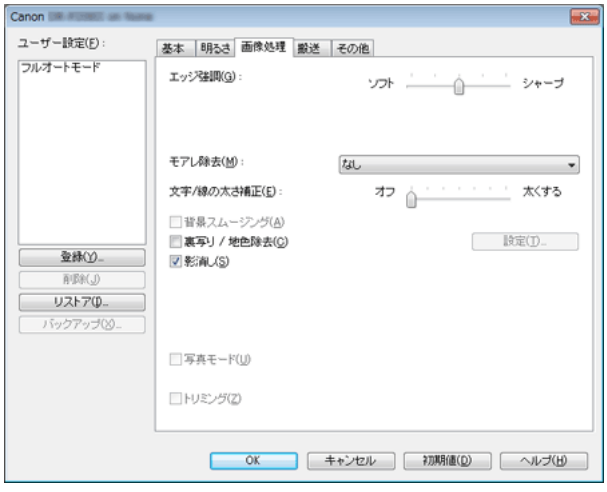
スキャン画像の明るさとコントラストを調整します。

［ガンマ］をクリックして、スキャン画像のガンマ補正値を設定することもできます。

メモ

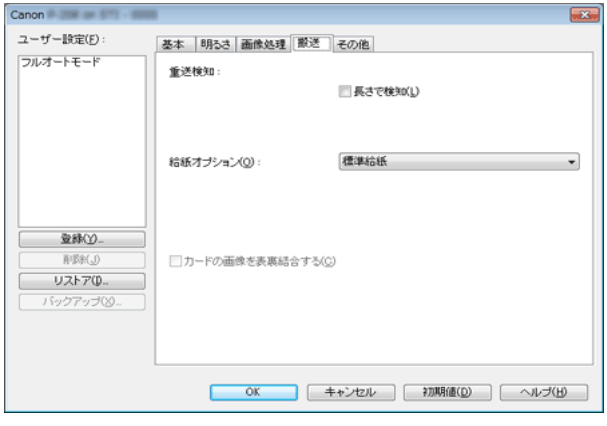
- ガンマ補正は、スキャンする画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が異なる場合に設定します。
- ご使用のモニターのガンマ値については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。

［画像処理］タブ



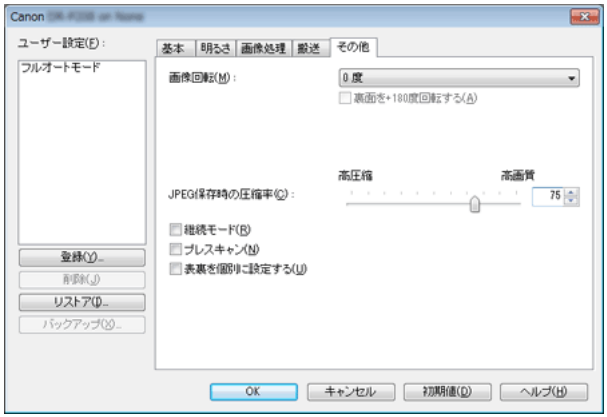
スキャン画像の処理方法を設定します。

［搬送］タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

[その他] タブ



特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

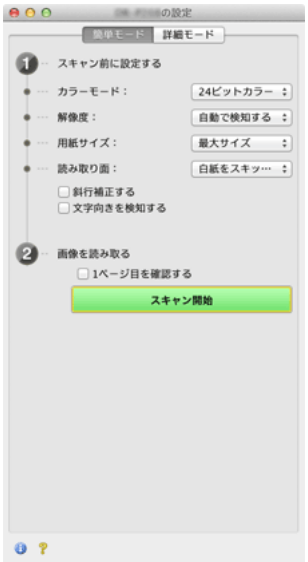
Mac

CaptureOnTouch からスキャナードライバーを開いたときは、次のようなスキャナードライバーの設定画面が表示されます。

メモ

一部アプリケーションから詳細設定画面を呼び出した場合、次のように簡単モードと詳細モードを切り替えて設定する詳細設定画面が表示される場合もあります。

簡単モード



詳細モード

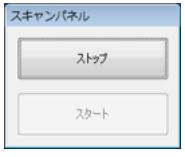
スキャンパネル

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。

Windows

スキャンパネルは、スキャナードライバーの設定ダイアログボックスで、[給紙オプション] の設定を [パネルで給紙] または [自動給紙] にしたときに操作します。この場合、スキャンの動作をしていないときに、スキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。



次の原稿をセットしてから、スキャンパネルのスタートボタンをクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

スキャンパネルの [ストップ] ボタンをクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

Mac

スキャナードライバーの設定画面で [詳細設定] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [給紙オプション] を [パネルで給紙] または [自動給紙] にした場合に、スキャンを開始するとスキャンパネルが表示されます。

1 つめの原稿のスキャンが終わるとスキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから [続けてスキャン] をクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

[完了] をクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

基本的なスキャン条件の設定

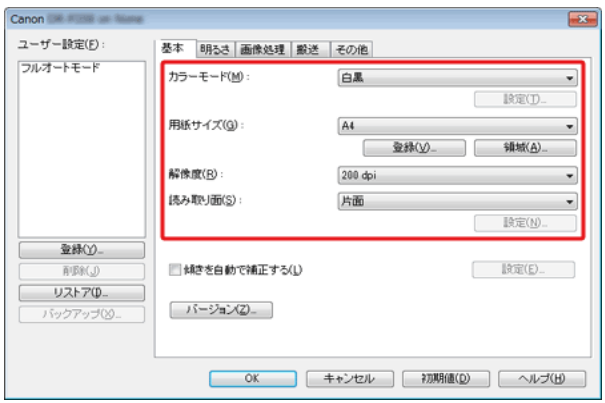
読み取りの設定を行う際に最低必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

Windows
Mac

Windows

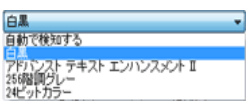
読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



カラーモード

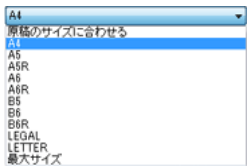
スキャンするモードを選択します。



- [アドバンストテキストエンハンスメント II]は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。[アドバンストテキストエンハンスメント II]を選択したときは、[明るさ]タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- [自動で検知する]は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。[設定]をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

用紙サイズ

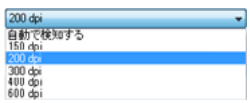
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[原稿のサイズに合わせる]を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。また、[用紙のサイズに合わせる]を選択したときのみ[画像処理]タブの[トリミング]が有効になります。

解像度

スキャンする解像度を選択します。

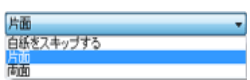


解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。

[自動で検知する]を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



読み取り面を[白紙をスキップする]にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

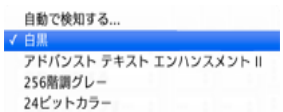
Mac

読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーの設定画面で「カラーモード」、「解像度」、「用紙サイズ」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。

カラーモード

スキャンするモードを選択します。



- ［アドバンストテキストエンハンスメント II］は、文字の周りの地色や背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。
- ［自動で検知する］は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。この項目を選択したときは、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

解像度

スキャンする解像度を選択します。

- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- ［自動で検知する］を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

用紙サイズ

スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。

［自動で検知する］を選択すると、原稿のエッジを検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。また［自動で検知する］が選択された状態のみ、［詳細設定］をクリックしたときに表示されるダイアログボックスの［トリミング］が有効になります。

読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。

読み取り面を［白紙をスキップする］にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

モードの設定による機能制限

Windows
Mac

Windows

[基本] タブの［カラーモード］の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

[明るさ] タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

[その他] タブ

設定値	プレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメントII	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可)

[画像処理] タブ

設定値	エッジ強調	カラードロップアウト	背景スムージング
自動で検知する	○	×	○
白黒	○	○	×
誤差拡散	○	○	×
アドバンストテキストエンハンスメントII	×	○	×
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	×	○

設定値	裏写り／地色除去	文字／線の太さ補正	写真モード
自動で検知する	○*1	○*2	○
白黒	○	○	×
誤差拡散	○	○	×
アドバンストテキストエンハンスメントII	×	○	×
256 階調グレー	○	×	○
24 ビットカラー	○	×	○

(○：設定可 ×：設定不可)

*1［カラー白黒検知設定］ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可

- ［検知モード］が［カラーまたはグレー］以外
- ［白黒と判定された場合］タブの［白黒の場合のモード］が［アドバンストテキストエンハンスメント II］

*2［カラー白黒検知設定］ダイアログボックスの［検知モード］が［カラーまたはグレー］の場合は設定不可

Mac

スキャナードライバーの設定画面の［カラーモード］の設定に応じて、次のようにドライバーの各設定項目の一部が無効になります。

簡単モード

設定値	1 ページ目を確認する
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンストテキストエンハンスメントⅡ	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

（○：設定可 ×：設定不可）

詳細モード

設定値	裏面の明るさを使用する	裏面のコントラストを使用する
自動で検知する	○	○
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンストテキストエンハンスメントⅡ	×	×
256 階調グレー	○	○
24 ビットカラー	○	○

（○：設定可 ×：設定不可）

［画像処理］ダイアログボックス

設定値	エッジ強調	背景スムージング	裏写り／地色除去
自動で検知する	○	○*	×
白黒	○	×	○
誤差拡散	○	×	○
アドバンストテキストエンハンスメントⅡ	×	×	×
256 階調グレー	○	○	○
24 ビットカラー	○	○	○

設定値	カラードロップアウト	文字／線の太さ補正	写真モード
自動で検知する	×	×	○
白黒	○	○	×
誤差拡散	○	○	×
アドバンストテキストエンハンスメントⅡ	○	○	×
256 階調グレー	○	×	○
24 ビットカラー	×	×	○

（○：設定可 ×：設定不可）

*［自動で検知する］を選択したときに表示される設定画面の［検知モード］が［カラーまたはグレー］の場合のみ

第 8 章　目的別にスキャンする

目的に合わせてスキャンする場合の設定例について説明します。設定項目の詳細については、「第 7 章　スキャナードライバーの設定」を参照してください。

こんなときは

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい.....48
スキャン領域を指定したい.....49
両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい.....50
色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい.....51
赤を強調させたい.....52
画像の輪郭をはっきりさせたい.....53
スキャン画像の文字や線を太くしたい.....54
写真に適した補正をしたい.....55
背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい.....56
原稿や画像が斜めになるのを補正したい.....57
原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい.....58
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい.....59
横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい.....60
カードの表と裏を 1 枚の画像としてスキャンしたい.....61
スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい.....62
マルチストリーム設定でスキャンしたい.....63
スキャナードライバーの設定を保存したい.....64

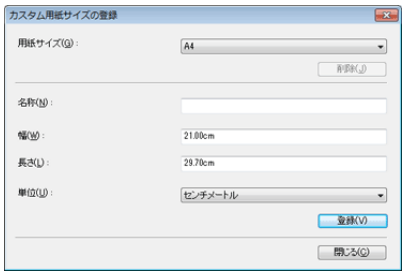
こんなときは

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい

Windows

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

用紙サイズに登録されていない原稿を読み取るときは、[基本] タブの [登録] ボタンから開く［カスタム用紙サイズの登録］ダイアログボックスで、用紙のサイズを入力します。設定した用紙サイズは、名前を付けて登録することができます。



Mac

用紙サイズに登録されていない原稿は、以下の設定を行うことにより読み取ることができるようになります。

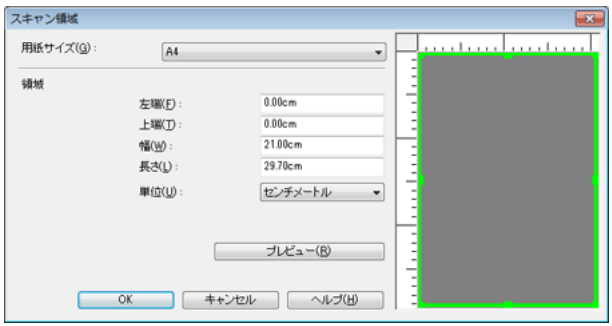
非定型サイズの原稿をスキャンするときは、［用紙サイズ］で［追加 / 削除］を選択して［用紙サイズの追加 / 削除］ダイアログボックスを表示させます。［用紙サイズ］に登録されていない用紙サイズを、名前を付けて登録できます。

こんなときは

スキャン領域を指定したい

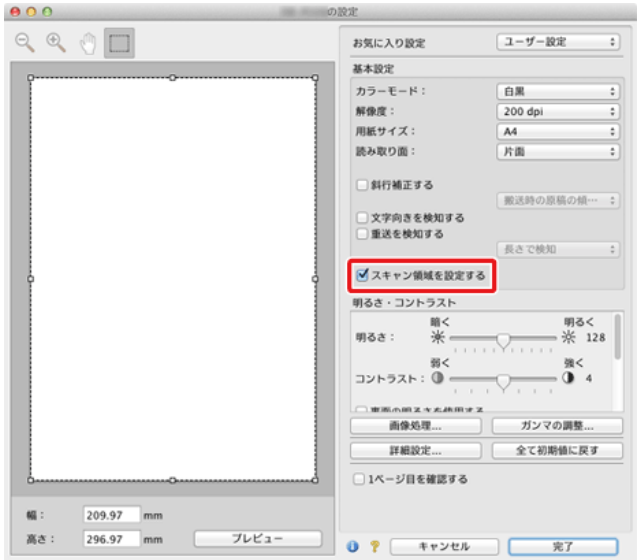
Windows

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブの [領域] ボタンから開くスキャン領域ダイアログボックスで、領域を指定します。



Mac

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[スキャン領域を設定する] をオンにして、領域を指定します。



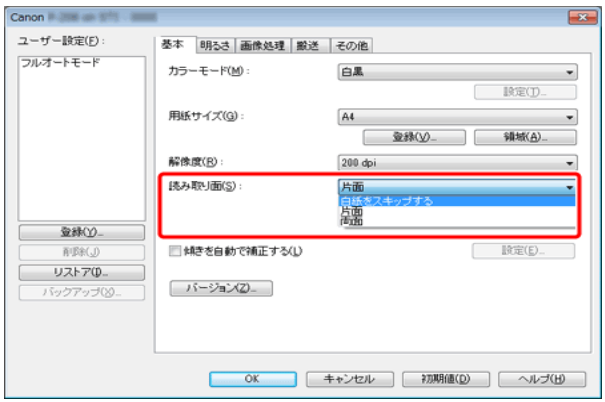
また、[1 ページ目を確認する] をオンにしてスキャンすると、原稿が 1 枚だけスキャンされ、そのスキャン画像がプレビューウィンドウに表示されます。

こんなときは

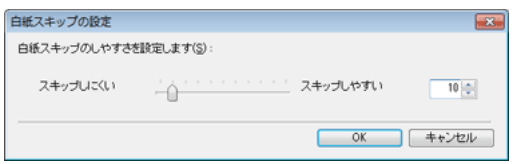
両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

Windows

[基本] タブにある読み取り面の設定を［白紙をスキップする］にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



［白紙をスキップする］を選択すると［設定］ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



Mac

読み取り面の設定を［白紙をスキップする］にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。

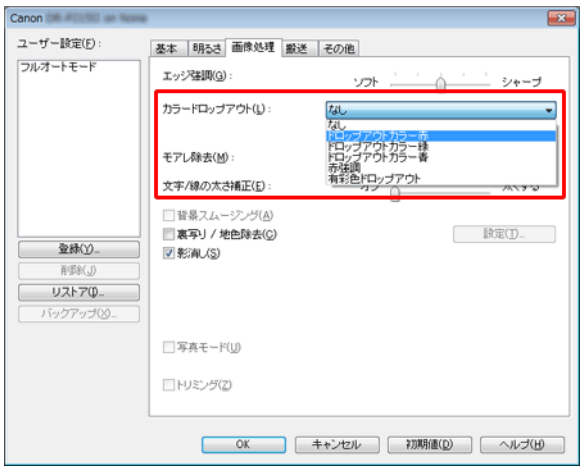
［白紙をスキップする］を選択すると、白紙と判断するレベルが調整できます。

こんなときは

色の付いた罫線や文字をスキャンしないようにしたい

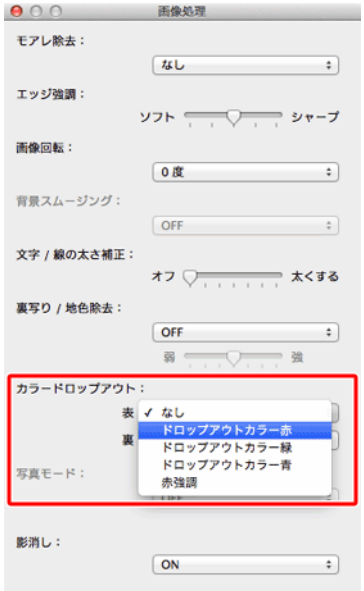
Windows

[画像処理] タブにあるカラードロップアウトの設定でドロップアウトさせる色（赤、青、緑、有彩色）を指定すると、指定した色がスキャンされません。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでドロップアウトさせる色（赤、青、緑）を指定すると、指定した色がスキャンされません。

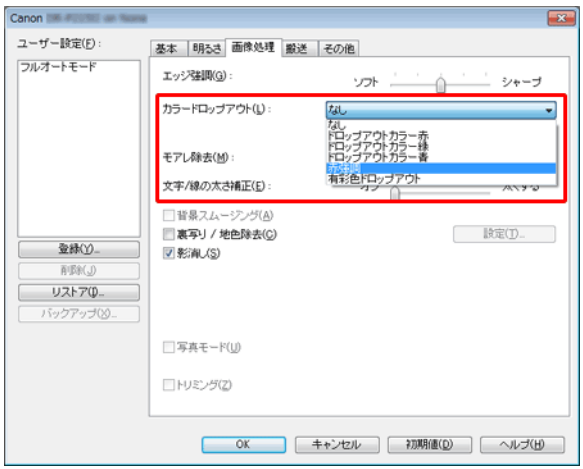


こんなときは

赤を強調させたい

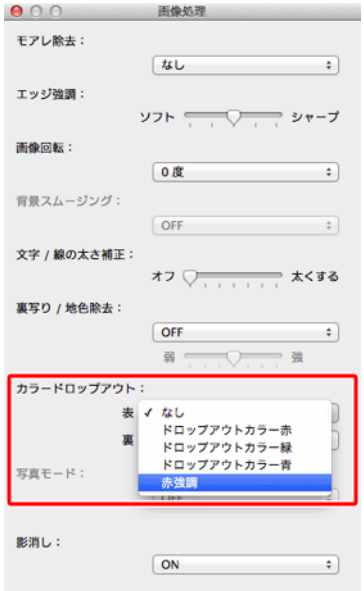
Windows

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの［カラードロップアウト］で［赤強調］を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。



Mac

［画像処理］をクリックし、表示されるダイアログボックスの［カラードロップアウト］で［赤強調］を指定すると、原稿上の赤い色の部分が強調されます。

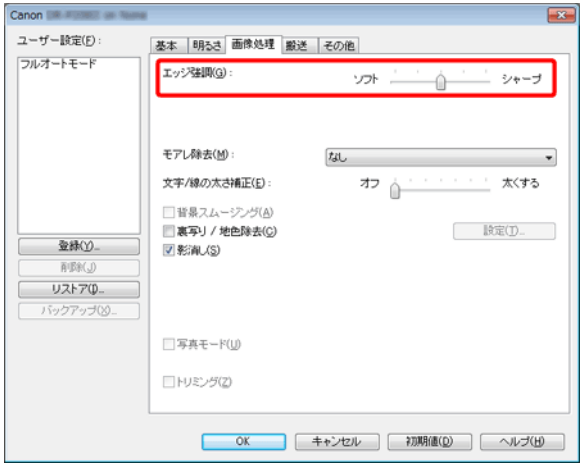


こんなときは

画像の輪郭をはっきりさせたい

Windows

[画像処理] タブでエッジ強調の設定を調整します。



Mac

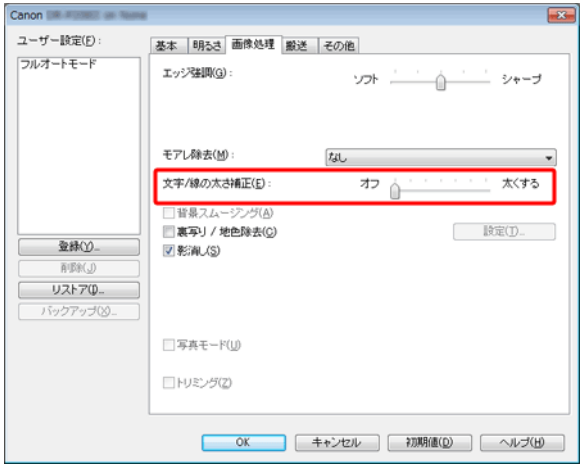
[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスでエッジ強調の設定を調整します。

こんなときは

スキャン画像の文字や線を太くしたい

Windows

[画像処理] タブの［文字 / 線の太さ補正］にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くすることができます。



Mac

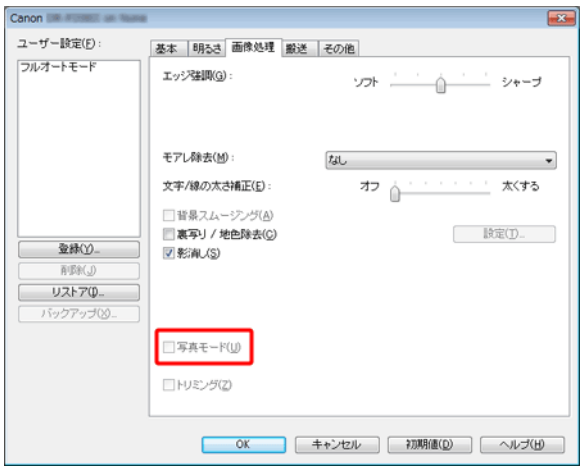
[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスで文字 / 線の太さ補正の設定を調整します。

こんなときは

写真に適した補正をしたい

Windows

[画像処理] タブで [写真モード] のチェックボックスをオンにします。



Mac

[画像処理] をクリックし、表示されるダイアログボックスの [写真モード] で [ON] を選択します。

メモ

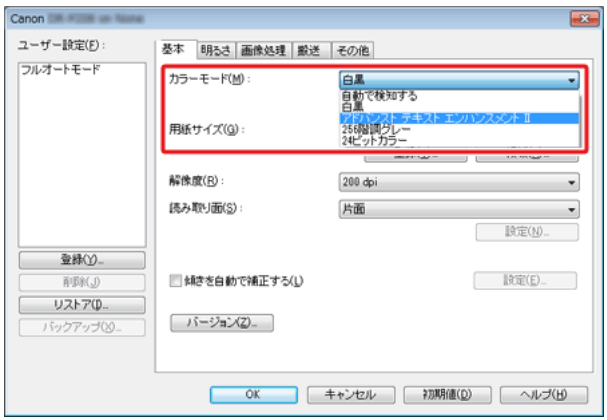
- [写真モード] は、白や黒の階調をより細かく出力することに適しています。このチェックボックスをオフにすると、文字データや背景画像などの黒に近い色は黒に、白っぽい色は白として出力されます。
- お使いの環境によってはスキャンした画像の色調と、モニターに表示された画像の色調が異なる場合があります。ご使用のモニターの設定については、モニターに付属の取扱説明書を参照してください。

こんなときは

背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

Windows

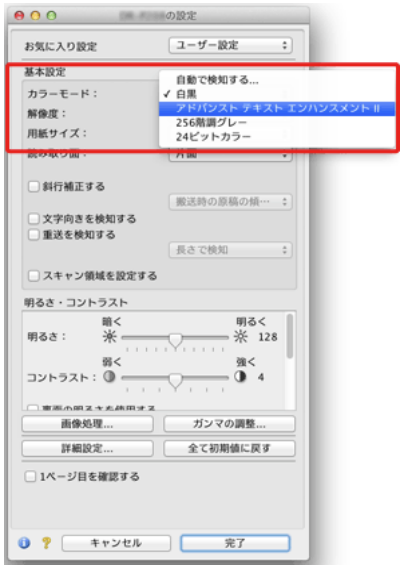
[基本] タブにあるモードの設定で［アドバンストテキストエンハンスメント II］を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



「アドバンストテキストエンハンスメント II」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均一でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなることがあります。必要に応じて［明るさ］タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくできます。

Mac

［カラーモード］の設定で［アドバンストテキストエンハンスメント II］を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。

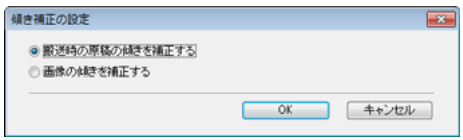


こんなときは

原稿や画像が斜めになるのを補正したい

Windows

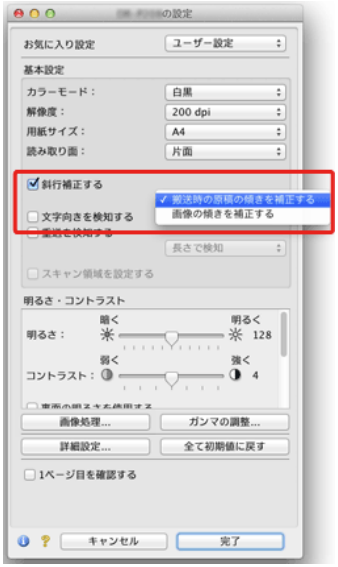
［基本］タブにある［傾きを自動で補正する］にチェックを入れ、［設定］ボタンをクリックすると、［傾き補正の設定］画面が表示されます。



補正方法を選択して、［OK］をクリックします。

Mac

［斜行補正する］のチェックボックスをオンにします。「搬送時の原稿の傾きを補正する」と「画像の傾きを補正する」のどちらかを有効にできます。

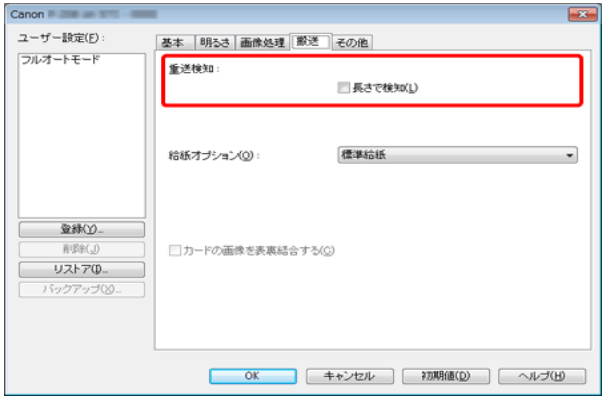


こんなときは

原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい

Windows

［搬送］タブの［重送検知］のチェックボックスをオンにします。［長さで検知］を有効にできます。



Mac

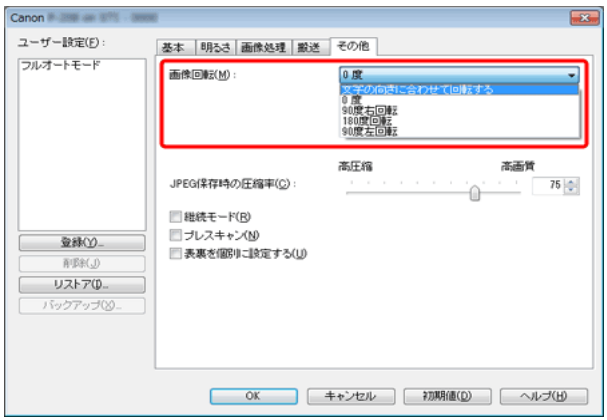
［重送を検知する］チェックボックスをオンにします。

こんなときは

文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

Windows

［その他］タブにある［画像回転］で［文字の向きに合わせて回転する］を選択します。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。



Mac

［文字向きを検知する］をチェックします。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が 90 度単位で回転されます。

メモ

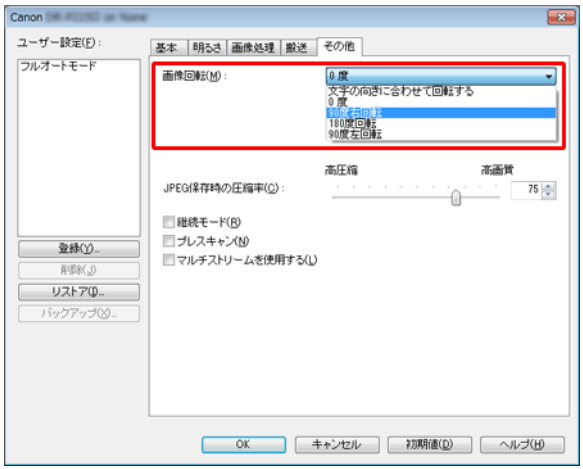
［文字向きを検知する］をチェックしているときは、［画像回転］は使用できません。

こんなときは

横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

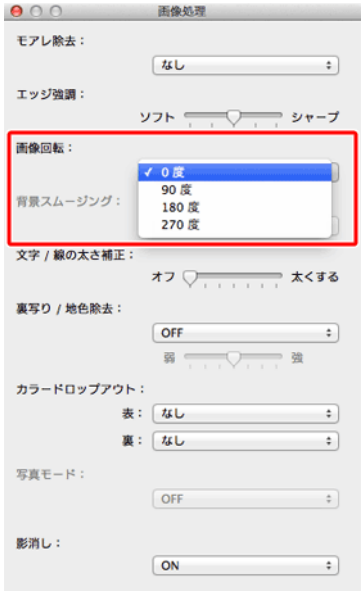
Windows

［その他］タブにある［画像回転］で回転させる角度を指定します。



Mac

［画像処理］をクリックし、表示されるダイアログボックスで［画像回転］で回転させる角度を指定します。

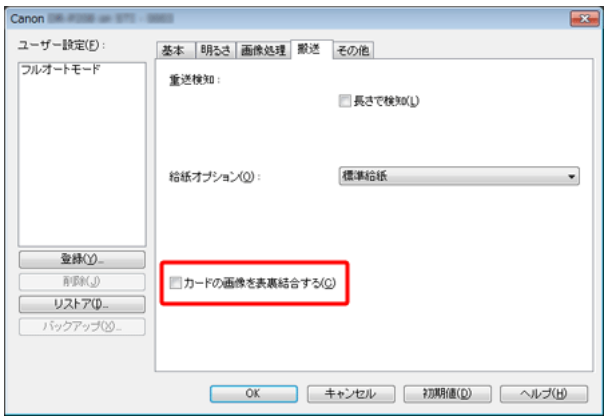


こんなときは

カードの表と裏を 1 枚の画像としてスキャンしたい

Windows

［搬送］タブにある［カードの画像を表裏結合する］のチェックボックスをオンにします。カードの表と裏を 1 枚のスキャン画像として読み込むことができます。



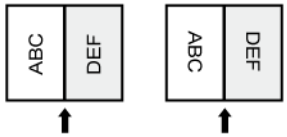
カードをセットする手順については「カードのセット」を参照してください。

注意

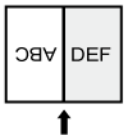
明るさ、コントラストなどの設定は表裏個別に設定することができますが、モードと解像度は表裏個別に設定することはできません。

メモ

- 横向きのカードの場合は、表と裏の文字が同じ向きになるように画像が統合されます。



- 縦向きのカードの場合は、表と裏の文字が反対向きになって画像が統合されます。

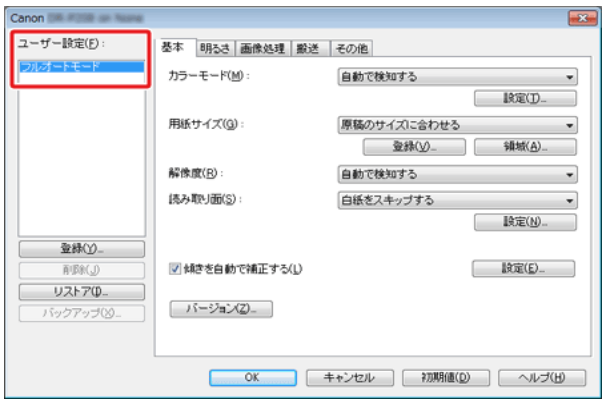


こんなときは

スキャン条件を自動的に設定してスキャンしたい

Windows

［ユーザー設定］の［フルオートモード］を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。



Mac

［お気に入り設定］の［フルオートモード］を選択すると、原稿に合わせたスキャン条件でスキャンされます。

メモ

フルオートモードを選択したときは、［カラーモード］と［用紙サイズ］、［解像度］がすべて自動検知になります。また、［読み取り面］の設定が［白紙をスキップする］になり、［画像回転］が［文字の向きに合わせて回転する］になります。

こんなときは

マルチストリーム設定でスキャンしたい

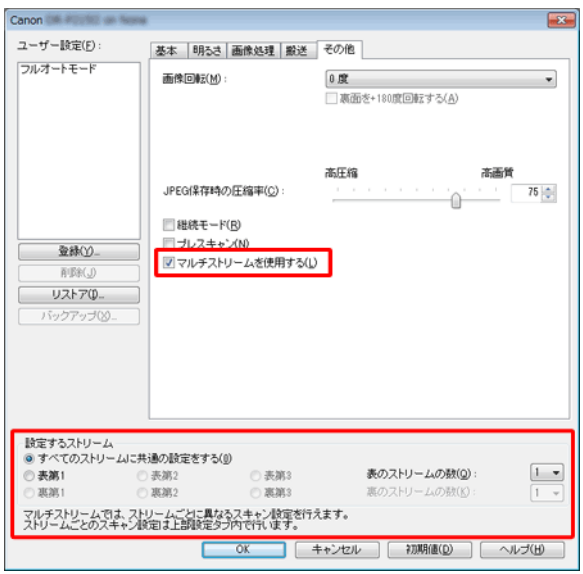
Windows

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます（マルチストリーム設定）。

お願い

- マルチストリーム設定は Windows でのみ使用できます。
- アプリケーションによっては、この設定項目は表示されません。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、［その他］タブの［マルチストリームを使用する］チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



1 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ［基本］タブの［読み取り面］で［白紙をスキップする］または［両面］を選択します。

2 ［表のストリームの数］で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。

3 ［表第 1］を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。［表のストリームの数］で指定した数に応じて、残りの［表第 2］、［表第 3］も同様に設定します。

4 裏面のスキャン条件を指定するときは、手順②～③と同様に設定します。この場合、［裏のストリームの数］を指定してから、［裏第 1］～［裏第 3］のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。

メモ

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

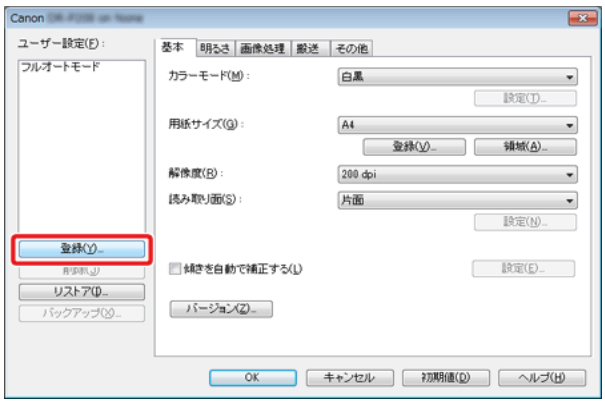
タブ	設定が可能な項目
［基本］タブ	［カラーモード］および［解像度］（どちらも［自動で検知する］を除く）
［明るさ］タブ	［明るさ］および［コントラスト］
［画像処理］タブ	［エッジ強調］、［カラードロップアウト］および［文字 / 線の太さ補正］
［搬送］タブ	なし（すべて無効）
［その他］タブ	なし（［マルチストリームを使用する］のみ有効）

こんなときは

スキャナードライバーの設定を保存したい

Windows

設定が終わったときに、［ユーザー設定］の［登録］ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。［削除］ボタンで一覧から削除したり、［リストア］または［バックアップ］ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。

メモ

あらかじめ登録されている［フルオートモード］は、［ユーザー設定］から削除できません。

Mac

設定が終わったときに、［お気に入り設定］の［追加 / 削除］を選択して設定内容を保存できます。

［追加］ボタンをクリックすると、現在の設定内容が［お気に入り設定一覧］に登録されます。［削除］ボタンで一覧から削除できます。

メモ

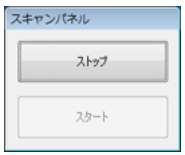
あらかじめ登録されている［フルオートモード］は、［お気に入り設定一覧］から削除できません。

スキャンパネル

スキャンパネルは、複数の原稿を続けてスキャンするときに、原稿の給紙やスキャンの停止などの制御をするためのソフトウェアです。

Windows

スキャンパネルは、スキャナードライバーの設定ダイアログボックスで、[給紙オプション] の設定を［パネルで給紙］または［自動給紙］にしたときに操作します。この場合、スキャンの動作をしていないときに、スキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。



次の原稿をセットしてから、スキャンパネルのスタートボタンをクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

スキャンパネルの［ストップ］ボタンをクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

Mac

スキャナードライバーの設定画面で［詳細設定］をクリックし、表示されるダイアログボックスの［給紙オプション］を［パネルで給紙］または［自動給紙］にした場合に、スキャンを開始するとスキャンパネルが表示されます。

1 つめの原稿のスキャンが終わるとスキャンパネルが表示され、スキャナーが待機状態になります。次の原稿をセットしてから［続けてスキャン］をクリックすると、セットされた原稿のスキャンが開始します。

［完了］をクリックすると、スキャンを途中で停止できます。

第９章　日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃とメンテナンスを行ってください。

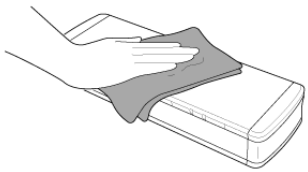
本体の清掃 66
読み取りガラスとローラーの清掃.....67

注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず給紙トレイを閉じて電源を切り、USB ケーブルをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。

本体の清掃

本体表面は、水を染み込ませ固くしぼった布で汚れを落としたあと、きれいな乾いた布で拭きます。



注意

きめの粗い布や汚れた布は傷の原因になるため使用しないでください。

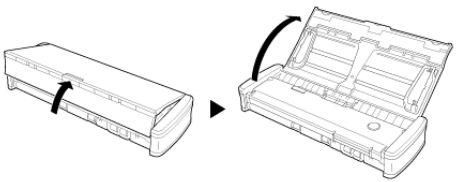
本体内部の清掃

本体内部にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。本体内部にたまったほこりや紙粉は、定期的に取り除いてください。また、大量の原稿をスキャンしたときなどは、スキャナーの電源を切った後に紙粉の除去を行ってください。

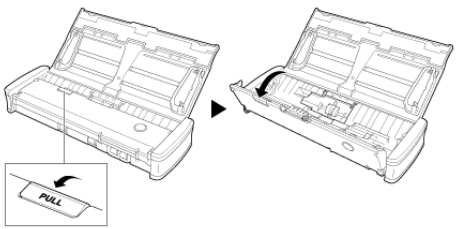
読み取りガラスとローラーの清掃

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスやローラーが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

1 給紙トレイを開きます。



2 フィーダーカバーを開きます。



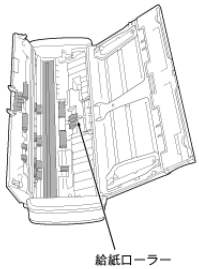
3 本体内部にたまったほこりや紙粉を取り除きます。

4 内部の読み取りガラスとローラー、分離パッド（図の▭の部分）の汚れを落とします。

読み取りガラスの汚れは、きれいな乾いた布で拭き取ってください。

ローラーの汚れは、水で湿らせた布で拭いて汚れを取り除いてから、きれいな乾いた柔らかい布で拭いてください。

給紙ローラーは、取り外してから清掃してください。取り外しかたの詳細は「給紙ローラーの取り外し／取り付け」を参照してください。



注意

水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。

お願い

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店にご相談ください。

第 10 章　給紙ローラーと分離パッドの取り外し／取り付け

給紙ローラーや分離パッドの交換の際は、手順に従って給紙ローラーと分離パッドの取り外し、取り付けを行ってください。

消耗品の交換.....68

給紙ローラーの取り外し／取り付け.....69

分離パッドの取り外し／取り付け.....71

カウンターのリセット.....72

消耗品の交換

スキャナー内部の給紙ローラーと分離パッドは消耗品です。スキャンを重ねるにつれて磨耗します。給紙ローラーまたは分離パッド（あるいはその両方）が磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりの原因となります。

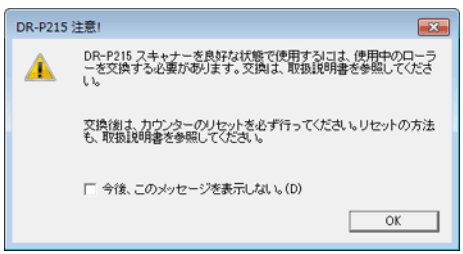
スキャナーで給紙した原稿の総ページ数が次の枚数を超えると、スキャナーをコンピューターに接続したときにメッセージが表示されます。この場合、メッセージに表示された消耗品を交換する必要があります。

お願い

交換部品の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

給紙ローラー 10 万枚

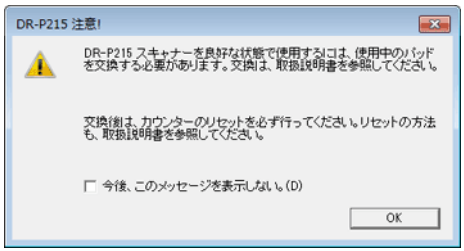
Windows



Mac

分離パッド 1万枚

Windows



Mac

また、これらの消耗品を交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターもリセットする必要があります。→「カウンターのリセット」

メモ

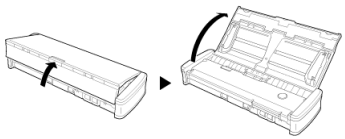
このメッセージの表示は、給紙ローラーと分離パッドの交換時期の目安です。たとえば、ざらついた紙を多くスキャンした場合、給紙ローラーと分離パッドは早く磨耗します。

給紙ローラーの取り外し／取り付け

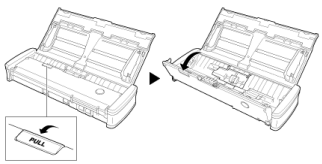
給紙ローラーの交換の際は、以下の手順に従って給紙ローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

給紙ローラーの取り外し

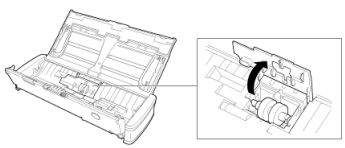
1 給紙トレイを開きます。



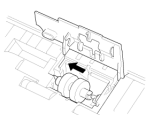
2 フィーダーカバーを開きます。



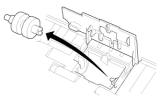
3 ローラーカバーを開きます。



4 給紙ローラーを左にスライドさせます。



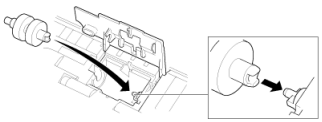
5 給紙ローラーを取り外します。



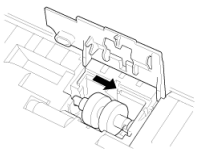
給紙ローラーの取り付け

給紙ローラーは、次の手順で交換できます。

1 給紙ローラーを取り付けます。ローラーの切り欠き部を本体側の軸に合わせてください。

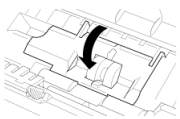


2 取り付けた給紙ローラーを右にスライドさせます。



3 ローラーカバーを、カチッと音がするまで確実に閉じます。

必ずカチッと音がするまで閉じてください。確実に閉じないと給紙不良の原因となります。



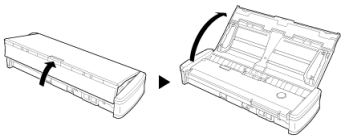
4 フィーダーカバーを閉じます。

分離パッドの取り外し／取り付け

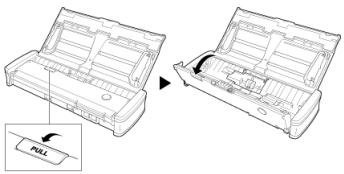
分離パッドの交換の際は、以下の手順に従って分離パッドの取り外し、取り付けを行ってください。

分離パッドの取り外し

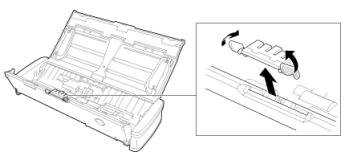
1　給紙トレイを開きます。



2　フィーダーカバーを開きます。

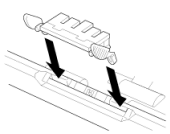


3　分離パッドを取り外します。



分離パッドの取り付け

1　分離パッドを取りつけます。



2　フィーダーカバーを閉じます。

お願い

分離パッドはカチッと音がするまで確実に取り付けてください。奥までしっかり取り付けないと給紙不良の原因となります。

カウンターのリセット

給紙ローラーまたは分離パッドを交換したときは、次の手順でスキャナー内部に記録されているカウンターをリセットする必要があります。

お願い

ここでは、スキャナー背面の Auto Start スイッチを「OFF」の位置にして使用している場合の手順を説明します。

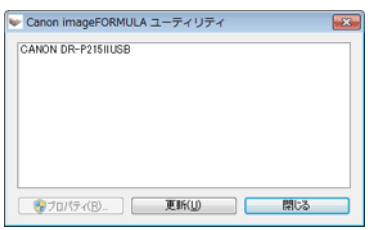
Auto Start スイッチを「ON」の位置にしているとき（CaptureOnTouch Lite のみを使用していて、CaptureOnTouch やスキャナードライバーをコンピューターにインストールしていないとき）は、以降の手順でカウンターをリセットすることはできません。この場合は CaptureOnTouch Lite からカウンターをリセットできます。

Windows

1 Windows を起動し、管理者権限を持つユーザーとしてログオンします。

2 スタートボタンをクリックし、［すべてのプログラム］、［Canon DR-P-xxx］、［Canon imageFORMULA ユーティリティ］の順にクリックします。

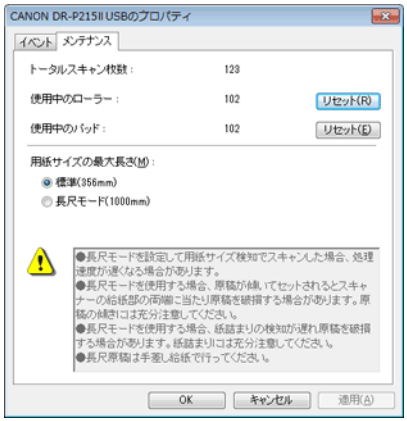
imageFORMULA ユーティリティが起動します。



3 ［CANON DR-P-xxx USB］をクリックし、［プロパティ］をクリックします。

メンテナンスタブをクリックし、カウンターをリセットします。

給紙ローラーを交換したときは、［使用中のローラー］の［リセット］をクリックします。分離パッドを交換したときは、［使用中のパッド］の［リセット］をクリックします。



（機種によっては、［イベント］タブは表示されません。）

4 ［OK］をクリックしてスキャナーのプロパティを閉じます。

Mac

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。→「スキャンモードの設定」

2 ［詳細設定ダイアログボックスを使う］を有効にしてから、［設定］ボタンをクリックします。

スキャナードライバーの設定画面が開きます。

3 （情報ボタン）をクリックします。

［スキャナーの情報］ダイアログボックスが開きます。

4 **［メンテナンス］をクリックします。**
［メンテナンス］ダイアログボックスが開きます。

5 **カウンターをリセットします。**
給紙ローラーを交換したときは、［使用中のローラーカウント］の［リセット］をクリックします。
分離パッドを交換したときは、［使用中のパッドカウント］の［リセット］をクリックします。

6 **をクリックしてダイアログボックスを閉じます。**

第 11 章　ソフトウェアをアンインストールする

スキャナードライバー、CaptureOnTouch が正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、ソフトウェアを再インストールしてください。詳細は『セットアップガイド』を参照してください。

アンインストール方法 74

アンインストール方法

Windows
Mac

お願い

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

Windows

1 ［スタート］ボタンをクリックし、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［プログラムのアンインストール］をクリックします。
［プログラムのアンインストール］ダイアログボックスが表示されます。

3 プログラムの一覧から、削除するソフトウェア名をクリックし、［アンインストール］をクリックします。
選択されたソフトウェアの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。

4 ［はい］をクリックします。
これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

Mac

macOS 用ドライバーには、アンインストーラーはありません。アンインストールするには、下記のファイルを Finder などで削除してください。

/Library（ライブラリ）/Image Capture/TWAIN Data Sources/DRP215II

/Applications/CaptureOnTouch

第 12 章　トラブルシューティング

紙づまりの処理.....75
お問い合わせの多いトラブル.....77
ソフトウェアの操作で困ったときは.....79
役立つヒント集.....80
保証とアフターサービス.....82
サービス＆サポートのご案内.....83

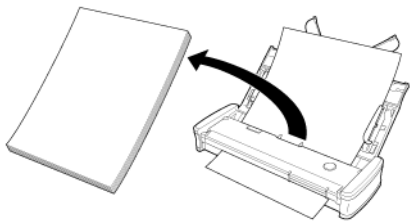
紙づまりの処理

原稿をスキャン中に紙づまりが発生したら、以下の手順に従って処理します。

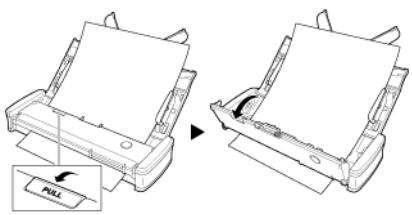
注意

つまった紙を取り除くときは慎重に取り除いてください。紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。

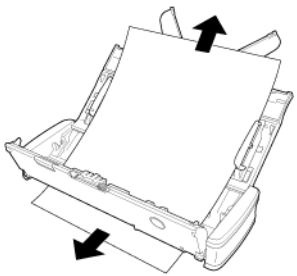
1　給紙トレイに残っている原稿を取り除きます。



2　上部ユニットを開きます。



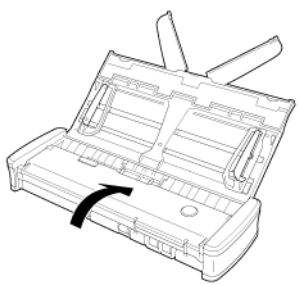
3　つまった原稿を、給紙側または排紙側から取り除きます。



お願い

原稿は、無理に引っ張らず慎重に取り除いてください。万一原稿が破れてしまった場合は、残りの紙片も必ず取り除いてください。
また、原稿が引っかかって破れないように注意してください。

4　上部ユニットを閉じます。



つまった紙を取り除いたら、最後の原稿が記録されているかどうかを確認し、作業を続けてください。

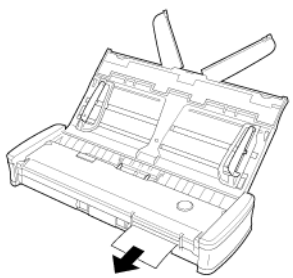
メモ

スキャナードライバーの設定画面で［継続モード］チェックボックスをオンにすると、紙づまりなどによってスキャン中に搬送が停止した場合に、正常にスキャンされた最後の画像を処理してからスキャンが中断しますので、搬送停止の原因をクリアしてからスキャンを継続できます。この場合、搬送が途中で停止した原稿の画像は保存されていないことがありますので、記録されている最後の原稿を確認してからスキャンし直してください。

カードが詰まったときは

カードを斜めにカードスロットに挿入すると、スキャン中にカードが詰まるこ とがあります。

カードスロットに挿入したカードがスキャン中に詰まったときは、カードを手 前に引き抜くか、フィーダーカバーを開けてカードを取り出してください。



お願い

フィーダーカバーを開けてカードを取り出す場合、フィーダーカバーを開きす ぎるとカードに負荷がかかることがあります。カードが破損しないように、フィーダーカバーは慎重に開けてください。

お問い合わせの多いトラブル

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店またはサービス窓口にご相談ください。

Q1　電源が入らない。

A1
1 給紙トレイを閉じているときは、スキャナーの電源はオフになります。給紙トレイを開くと自動的に電源が入ります。
2 USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

Q2　スキャナーが認識されない。

A2
1 スキャナーとコンピューターが USB ケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
2 スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない。」も参照してください。
3 コンピューターの USB インタフェースがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべての USB インタフェースでの動作を保証していません。
4 付属の USB ケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販の USB ケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
5 USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
6 スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。この場合、コンピューターのアプリケーションからスキャンすることはできません。
7 Windows で使用しているときは、デバイスマネージャを開いて、本機の表示に「?」、「!」、「×」マークが表示されているときは、デバイスマネージャ上で本機を削除し、スキャナードライバーを再インストールしてください。

Q3　原稿が斜めに給紙される（スキャン画像が斜めになる）。

A3
1 一度にセットする原稿の枚数を減らしてスキャンし直してください。
2 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。
3 スキャナードライバーの設定で［傾きを自動で補正する］（または［斜行補正する］）を有効にしてください。
4 すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーと分離パッドを清掃してください。清掃については「読み取りガラスとローラーの清掃」を参照してください。交換については「消耗品の交換」を参照してください。
5 分離パッドがしっかり取り付けられているかどうかを確認してください。
6 スキャナーの構造上、完全にまっすぐにはスキャンできないことがあります。

Q4　CaptureOnTouch Lite が起動しない。

A4
1 スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「OFF」になっていると、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite を起動できません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Start スイッチを「ON」に切り替えてください。
2 セキュリティソフトによって USB デバイスへのアクセスが禁止されている場合、CaptureOnTouch Lite が使用できないことがあります。

Q5　スキャナーを接続すると［自動再生］画面が表示され、CaptureOnTouch でのスキャンができない。

A5　スキャナー背面の Auto Start スイッチの位置が「ON」になっているときは、スキャナー内蔵の CaptureOnTouch Lite でしかスキャンできません。いったん給紙トレイを閉じてスキャナーの電源をオフにし、Auto Start スイッチを「OFF」に切り替えてください。

Q6　スキャナードライバーで設定したとおりにスキャンされない。

A6　CaptureOnTouch で登録した［スキャンモード］パネルを使用してスキャンした場合、スキャナードライバーの設定よりも CaptureOnTouch の設定が優先されます。［スキャンモード］パネルの設定を変更するか、スキャン条件に合わせて新しい［スキャンモード］パネルを作成してください。

Q7　スキャン画像に白線 / すじが発生する。

A7　読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラーを清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃については「第 9 章　日常のお手入れ」を参照してください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

Q8　ページが抜ける（足りない）。

A8　[白紙スキップのしやすさ] の値を小さくする（→両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい（→ P.50））か、[読み取り面] を片面や両面など他の設定にしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、「Q9.　原稿が詰まる（または重送する）。」を参照してください。

Q9　原稿が詰まる（または重送する）。

A9　1　分離パッドが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じて清掃してください。清掃と交換については「第 10 章　給紙ローラーと分離パッドの取り外し／取り付け」を参照してください。
2　原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。

Q10　複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A10　CaptureOnTouch Lite および CaptureOnTouch で保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。
・BMP、PNG、JPEG：常に 1 ページにつき 1 つの画像ファイルに保存します。
・PPTX：常に複数ページを 1 つのファイルに保存します。
・TIFF、PDF：アプリケーションの設定によって、複数ページを 1 つのファイルに保存することができます。
設定方法については、CaptureOnTouch のヘルプを参照してください。

Q11　セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A11　スキャナードライバーの設定画面で、給紙方法を［パネルで給紙］または［自動給紙］に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。スキャンパネルの［ストップ］ボタン（Windows）／［完了］ボタン（macOS）をクリックすると、スキャン動作が終了し、スキャン画像がアプリケーションに送られます。

Q12　スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。

A12　コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。
・[カラーモード] を［24 ビットカラー］にする
・[用紙サイズ] で大きな用紙サイズ（リーガルなど）を指定する。または［最大サイズ］にする
・[解像度] で高い解像度（600dpi など）を指定する
スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更（たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど）してからスキャンをやり直してください。また、［モアレ除去］や［裏写り / 地色除去］をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

Q13　給紙時に異音がする。

A13　原稿の紙の質によっては、給紙時に異音が発生しますが、故障ではありません。

ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア（CaptureOnTouch）の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

スキャンに時間がかかる

1 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。

2 システムに常駐するアプリケーション（ウィルス対策ソフトウェアなど）によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。

3 ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル（一時的にスキャンデータを保存したファイル）が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。

4 コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。

5 Hi-Speed USB 2.0 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブルに換えてください。

6 Hi-Speed USB 2.0に対応していないUSB HUBを経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

1 スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。

2 マルチページTIFFではないTIFFファイルに保存した場合でも、TIFFファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

CaptureOntouch プラグイン / Captiva Cloud が使用できない

「.NET framework」がインストールされていないときは、インストールして下さい。

CaptureOnTouch の UI 画面が乱れることがある

登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多いと、お使いのコンピューターによっては、UI 画面が乱れたりすることがあります。使用していないパネルを削除してください。

役立つヒント集

ここでは、原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。いずれについても任意のフォルダーに変更できます。

- CaptureOnTouch
  - 3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに［出力先パネル］で設定した出力先に保存されます。
  - 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
  - プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

スキャン設定をするにはどうすればよいですか？

- CaptureOnTouch

  スキャンモードパネルの編集ボタン をクリックし、表示されるスキャンモード編集画面でスキャン設定ができます。

複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？

スキャン画像のファイル形式が BMP、PNG または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PPTX の場合は、常に複数ページを 1 つのファイルに保存します。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「お問い合わせの多いトラブル」（P.77）の「Q10」も参照してください。

スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？

- CaptureOnTouch

  ［環境設定］ダイアログボックスの［メンテナンス］タブの［バックアップ / リストア］で設定内容をバックアップしたり復元できます。

スキャン画像のファイル名はどのようなルールで付けられるのですか？

- CaptureOnTouch Mac

  スキャン画像のファイル名は、3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに［出力先パネル］での設定に従います。この画面は出力先パネルの編集ボタン をクリックすると表示されます。

  この画面にある、［詳細設定］ボタンをクリックすると表示される次の 3 つの項目の一部またはすべてを設定することで、スキャン画像のファイル名が決まります。

設定項目	説明
ファイル名	ファイル名に付加する任意の文字列を指定できます。
日時を付加する	ファイル名に日時を付加します。リストボックスで日時の記述順を選択します。「YYYY」が年、「MM」が月、「DD」が日を表します。どの記述順を選択しても、末尾に時刻が付加されます。
ファイル名に連番を付ける	スキャン画像のページの保存順に連番を付けます。連番の桁数と開始番号を指定します。

  ［ファイル名の設定］ダイアログボックスの［ファイル名］には、ファイル名の設定の例が表示されます。

白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？

スキャンパネル、またはスキャナードライバーの設定画面で［白紙をスキップする］を指定してスキャンします。

カードをスキャンするにはどうすればよいですか？

カードスロットにカードをセットします。スキャナー設定でカードのサイズと同じサイズ（または［原稿のサイズに合わせる］）（Windows）／［自動で検知する］（macOS）を指定してスキャンします。詳細は「カードのセット」を参照してください。

スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］を［原稿のサイズに合わせる］（Windows）／［自動で検知する］（macOS）にしてスキャンしたら画像の端が欠けてしまいました。欠けないようにするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で［画像処理］タブの［トリミング］（Windows）/［詳細設定］をクリックして表示されるダイアログボック

スの［トリミング］（macOS）のチェックボックスをオフにしてスキャンします。または、スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］から［原稿のサイズに合わせる］（Windows）/［自動で検知する］（macOS）以外のサイズを選択してスキャンします。

縁が暗く黒に近い色の原稿をスキャンしたら画像の端が欠けてしまいました。欠けないようにするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で［画像処理］タブの［影消し］（Windows）/［画像処理］をクリックしたときに表示されるダイアログボックスの［影消し］（macOS）のチェックボックスをオフにしてスキャンします。

サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？

スキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］を［原稿のサイズに合わせる］にしてスキャンします。詳細は「用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい」を参照してください。

名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。

定型サイズ以外の原稿はスキャナードライバーの設定画面で［用紙サイズ］を［原稿のサイズに合わせる］（Windows）／［自動で検知する］（macOS）にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は「用紙サイズに登録されていない原稿を読み取りたい」（P.48）を参照してください。

写真をより原稿に近いイメージでデータにしたい場合は、スキャナードライバーの設定画面で［写真モード］を選択してスキャンします。詳細は「写真に適した補正をしたい」を参照してください。

スキャンしたデータを印刷したい。

- CaptureOnTouch
  - ３ ステップスキャン、お気に入りスキャンともに［出力先パネル］で［印刷する］を選択します。
  - 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
  - プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

フォルダー以外に保存したい

- CaptureOnTouch
  - CaptureOnTouch では、［フォルダーに保存する］以外の保存先は、プラグインとして提供しています。
  - プラグインをインストールすることによって、スキャン画像を印刷したりメール添付したり、さまざまなクラウドサービスを利用して共有することができます。
  - プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。
  - インストールしているプラグインによって、選択できる出力先は異なります。

スキャンしたデータをメールに添付させたい（またはメール送信したい）。

- CaptureOnTouch
  - ３ ステップスキャン、お気に入りスキャンともに［出力先パネル］で［メールに添付する］を選択します。
  - 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
  - プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

原稿のカラー自動検知機能について知りたい。

本製品のスキャナードライバーは、原稿の内容からカラーモードを自動で検知する機能を持っています。

この自動検知機能で検知できるモードは、使用するアプリケーションおよびスキャナードライバーの設定によって次のようになります。

条件	検知できるモード
CaptureOnTouch のスキャンモードパネル編集ダイアログの［カラーモード］で［自動で検知する］を選択したとき	カラーまたはグレー
スキャナードライバーで［フルオートモード］を選択したとき	
スキャナードライバーの［カラーモード］を［自動で検知する］にしてから、自動検知の詳細設定をしたとき	次のいずれかを選択可。 ・カラーまたはグレー ・カラーまたは白黒 ・カラー、グレーまたは白黒

保証とアフターサービス

■ 保証登録について
保証登録サイト（https://canon.jp/support/support-info/biz-product/user-resigt）にて保証登録ができます。保証登録をしていただくと、以下のようなサービス（情報）をお受け取りになることができます。
- お買い上げ日から 1 年間の無償保証および「保証書」電子発行（ウェブサイト上での閲覧および印刷）
  * 消耗品（フィードローラー、リタードローラー、分離パッドなど）については、保証期間内であっても保証の対象とはなりません。
- 登録機器の「機器情報」の確認、および保証期間の確認
- キヤノンサービスパック（キヤノン製品パッケージ型保守サービス。以下、CSP）をご購入のお客さまの「お客さま登録」および更新

ご使用中の機器情報を一覧で閲覧できるほか、登録機器の保証期間の有無をご確認いただくことができます。また、お客さまがご使用中の製品、その他キヤノンからの最新情報をご提供いたします。
保証登録の際は、本製品に付属されている「保証登録のお願い」の内容を併せてご確認ください。

※ 保証登録のお願いページ URL
<https://canon.jp/support/support-info/biz-product/user-resigt>

■ 修理サービスのご相談
修理サービスのご相談は、お買い上げの販売店または下記の修理受付窓口へご相談ください。

■ 修理を依頼される前に
『ユーザーマニュアル』（本書）の「トラブルシューティング」にそって故障かどうかお確かめください。それでも直らない場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、修理をご依頼ください。

■ 修理を依頼されるときに、ご連絡いただきたいこと
- お客様のお名前
- ご住所、お電話番号
- 商品の品番
- 故障の内容（できるだけ詳しく）

■ 本製品を修理のために送付するときのお願い
本製品の修理を依頼するときは、下記の修理受付窓口に送付の上、指定されたサービスセンターに本製品をお送りいただく必要があります。本製品の送付には、製品が入っていた梱包箱をご利用ください。また、梱包箱に入れるときに、本製品を梱包材でしっかり固定していただくようお願いいたします。

■ 補修用性能部品について
保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製品の製造打ち切り後５年間です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

修理依頼

■ 持込修理窓口
保証内容や修理についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、下記のキヤノンサービスセンターへお問い合わせください。
* 修理のお問い合わせ・お申し込みについては下記 QR コードからもご確認いただけます。

お願い：本機のお取扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

- サービスセンター銀座
  東京都中央区銀座 3-9-7 トレランス銀座ビルディング 2F
  03-3542-1815
- サービスセンター大阪
  大阪市北区中之島 3-2-4　中之島フェスティバルタワー・ウエスト 1F
  06-7739-2300

■ 送付修理窓口
以下の修理品受付センターでは、郵送・宅配による修理品のお取扱いを致しております。
郵送または宅配の際には、必要項目をご記入いただいた『修理依頼書』または、『修理依頼書』の必須項目と同じ内容をご記入いただいたメモを修理ご依頼品に添付いただき、無償保証期間内の場合は、保証書を同封してください。配達記録の残る書留か小包（ゆうパック）、または宅配でお送りいただくことをお勧めします。

- 関東　送付修理品受付センター
  〒 300-4102　茨城県土浦市本郷 20-29
  TEL 043-211-9582
- 近畿　送付修理品受付センター
  〒 572-0075　大阪府寝屋川葛原 1-32-16
  TEL 072-626-1313

2023 年 3 月 24 日　上記の内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承ください。

サービス&サポートのご案内

■ お客様相談センター

取扱い方法および修理に関するご相談は、お買い上げ頂いた販売店または下記の窓口にご相談ください。

お客様相談センター
全国共通電話番号 **0570-08-0072**

受付時間：＜平日＞ 9:00 ～ 17:00
（土日祝日と年末年始、弊社休業日は休ませていただきます。）

- 携帯電話・PHS をご利用の場合、ご契約先携帯電話事業者の定める通話料金となります。詳しくはご契約の携帯電話事業者にお問い合わせください。尚、一部の PHS からはご利用いただけませんのでご了承願います。
- ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、03-6634-4531 におかけください。
- お客様相談センターの詳細につきましてはキヤノンホームページ（https://canon.jp/support/contact）をご参照ください。

■ 消耗品の入手方法

消耗品はお買い上げ頂いた販売店、お近くのキヤノン製品取扱店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。尚、ご不明な場合はお客様相談センターにご相談ください。

キヤノンホームページ　https://canon.jp

- https://canon.jp/support では、製品情報、最新ドライバーのダウンロード、QA 検索などの情報が掲載されています。是非ご利用ください。
- ホームページのレイアウトは、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。
- 通信料はお客様のご負担になります。

保守サービスのご案内

■ ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

このたびはドキュメントスキャナーをご購入いただき誠にありがとうございます。さて、毎日ご愛用いただくドキュメントスキャナーの無償修理保証期間経過後の保守サービスとして「キヤノン保守契約制度」を用意しています。当制度はキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持・管理等、万全の処置を行ないます。お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度とは

ご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。保守契約制度とは、この無償修理保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するサービスです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

■ 精密機器だからこそ保守契約が必要です

ご購入いただきました機器は精密機器です。万一、思いがけないトラブルが発生した場合、時間的なロスだけでなく、予期せぬ出費が発生します。そこで、トラブルが起こってからではなく、事前に一定の料金をお支払いいただくことで、ご愛用の機器の修理に備えるのがキヤノンの保守契約制度です。

キヤノン保守契約制度のメリット

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料、技術料、部品代が含まれています。
万一のトラブル時も予期せぬ出費が発生することがありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます。（別途、有料となります。）

- 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルは除きます。
- 消耗品およびキヤノン指定の部品は対象外となります。

■ 購入時契約のおすすめ

ご愛用品を安心してお使いいただく為に、保守契約に加入をお勧めいたします。
また、ご購入時に加入いただきますと、手続きなどの手間は一度ですみ便利です。
キヤノン保守契約に関するお申し込み、お問い合わせはお買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いします。

第 13 章　付録

仕様 84
交換部品 86
オプション 86
外形寸法図 86

仕様

本体

形式	卓上型シートスルースキャナー	
読み取り原稿サイズ		
普通紙	幅	50.8 ～ 216 mm（2 ～ 8.5"）
	長さ	70 ～ 356 mm（2.756 ～ 14"） 長尺モード時は長さ最大 1000 mm（39.4"）
	紙厚	坪量 52 ～ 128 g/m^2 厚さ 0.06 ～ 0.15 mm（0.0024 ～ 0.0059"）
ポストカード	幅	88.9 ～ 108 mm（3.5 ～ 4.25"）
	長さ	127 ～ 152.4 mm（5 ～ 6"）
	紙厚	坪量 128 ～ 225 g/m^2 厚さ 0.15 ～ 0.3 mm（0.0059 ～ 0.0118"）
名刺	幅	49 ～ 55 mm（1.93 ～ 2.17"）
	長さ	85 ～ 91 mm（3.35 ～ 3.58"）
	紙厚	坪量 128 ～ 225 g/m^2 厚さ 0.15 ～ 0.3 mm（0.0059 ～ 0.0118"）
カード（ISO/IEC 規格準拠）	幅	86 mm（3.39"）
	長さ	54 mm（2.13"）
	カード厚	0.76 mm（0.03"）以下 エンボス付きのカードは厚さ 1.4 mm(0.055")まで
給紙方法		自動
読み取りセンサー		CIS
光源		LED
読み取り面		片面 / 両面
読み取りモード		白黒、誤差拡散、256 階調グレースケール、アドバンストテキストエンハンスメントII、24 ビットカラー
読み取り解像度		150×150dpi/200×200dpi/300×300dpi/ 400×400dpi/600×600dpi

読み取り速度
（条件：CPU Core 2 Duo 2.53GHz、実装メモリー 2GB、原稿サイズ A4）

USB 2.0 バスパワー使用時：

グレース ケール	片面	200×200dpi　12 枚 / 分 300×300dpi　12 枚 / 分
	両面	200×200dpi　14 面 / 分 300×300dpi　14 面 / 分
24 ビット カラー	片面	200×200dpi　10 枚 / 分 300×300dpi　6 枚 / 分
	両面	200×200dpi　10 面 / 分 300×300dpi　6 面 / 分

※ USB 2.0 バスパワーのみ使用 / 両面スキャン時は、スキャンする原稿の種類やスキャナー本体の負荷、お使いの PC 状況などにより消費電力量が変動し、読み取り速度が変化する場合があります。

USB 3.0 バスパワー /USB 2.0 バスパワー使用時：

グレース ケール	片面	200×200dpi　15 枚 / 分 300×300dpi　15 枚 / 分
	両面	200×200dpi　30 面 / 分 300×300dpi　30 面 / 分
24 ビット カラー	片面	200×200dpi　10 枚 / 分 300×300dpi　6 枚 / 分
	両面	200×200dpi　20 面 / 分 300×300dpi　12 面 / 分

インタフェース	Hi-Speed USB 2.0（電源のみ USB 3.0 に対応）
外形寸法（幅 × 奥行き × 高さ）	
給紙トレイを閉じたとき：	285 × 95 × 40 mm（11.22 × 3.74 × 1.57"）
給紙トレイを開いたとき：	285 × 257 × 174 mm（11.22 × 10.12 × 6.85"）
質量	約 1kg
電源	USB バスより供給（USB 2.0：通信用 500mA、USB 3.0：900mA） AC アダプター（別売り）使用時：DC 6 V、800mA
消費電力	
動作時	USB2.0：2.5W、USB3.0：4.5W
スリープモード	1.5W
電源オフ時	0.1W 以下
騒音	66dB 以下
使用環境	温度：10 ℃～ 32.5 ℃ 湿度：25%（RH）～ 80%（RH）

交換部品

分離パッド （商品コード：6144B001）

交換用の分離パッドです。交換方法については分離パッドの取り外し／取り付けを参照してください。

給紙ローラー（商品コード：6144B002）

交換用の給紙ローラーです。交換方法については給紙ローラーの取り外し／取り付けを参照してください。

お願い

交換部品の詳細については、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。

オプション

USB ケーブル（商品コード：6144B003）

本製品をコンピューターと接続するための専用 USB ケーブルです。

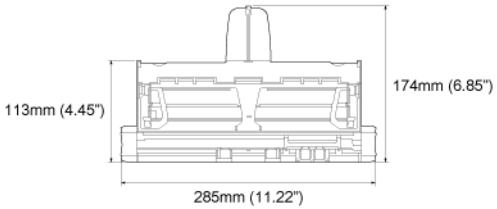
キャリングケース （商品コード：4179B003）

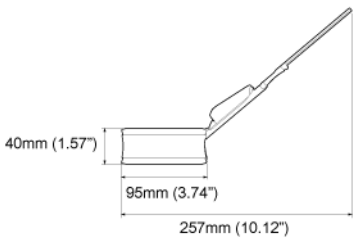
本製品を入れて持ち運ぶためのケースです。

AC アダプター（商品コード：6144B004AA）

本製品を電源に接続して使用するための AC アダプターです。本機はバスパワー駆動により 1 本の USB ケーブルでのスキャンができますが、USB 2.0 接続の場合 AC アダプターを使用することにより、より高速にスキャンできます。

外形寸法図





キヤノンマーケティングジャパン株式会社
〒 108-8011 東京都港区港南 2-16-6　CANON S TOWER

PUB. CE-IM-0942-J1.60
© CANON ELECTRONICS INC. 2014